江衛屯が酸は脳の陀意兵衛確強に常能しつゝあるも都深の南北二十日登」司令部教表、午後五時の脱況、聡誠は東京の延く郷

に酒勾除長を訪べ は新郷に製を学べ なががら 便我をせぬやう に働いて見れ に動いて見れ

攻撃の障 外國旗の

家が

ない、実験に関うているない。 前進の時は四斗権を忘れるな、 前進の時は四斗権を忘れるな、 前進の時は四斗権を忘れるな、 が依頼戦闘前に臨職を呑むの帳ありだ で失ふ、既に敵を呑むの帳ありだ。 ができる、○隊長の突鍼に送られな

大学の路をおに扱れ、支那部深を上に降きつ、後正の歌深を観察すべく記者は我山秘。

○戦線の○隊本部

された。 一令小賊を退治して のる處だ

さ何處迄腹が太いのか見當がつか

へこの成力を以て新攻撃の進展を企職とつゝあり左翼も之に連撃と猛家宅附近に前進す了盟に首の国列兵位産型に守備してゝまるも割満の南北庫側において背後を包閣と

我軍吳淞江灣方面

より

院の歌は旅行戦より旅余戦を目を 歌たる下元の歌は臭を戦より一里 の影像漆砂匠より前途を繋がら前

がとれる

か

皇軍の上

部隊に合同して突縮に入り、早くも鬱行戯に突進し第○○戯は真菌標前場の 豫定線は悪か午前中既に江灣線を占據したが、之さ桐呼廳し、上陵以來本日送吳澄鐵の膠着にあつて廢た嶽してた遊遊第○○○戲は一部隊のみか當めて殆ど全兵力か事げて石叟もも、之さ同時に我溶車航空隊○機総隊○邀は電線號の個輕線號機は○○傷の線流を接線して敵の野砲陣地を微塵に撃波しるも、之さ同時に我溶車航空隊○機総隊○邀は電線號へ (回転線) 「大き、一十日教」午後三時五十分陸殿隊本部登表、今嚔からの破戦戦には我陸軍の○○電砲、溶軍の山砲、船納耐協力して敵戦を粉砕せ

日

上海附近の戦線に平隔する我将兵は九州及び第十九路軍に策應せざる限り

の戦線に軍する我将兵は九州及び北國の健気を主力さするものであつて、その先輩は日底、日衛兩戦役に皇軍の一路軍に策應せざる限り。これに敵對行爲を加ふる如き事も亦斷じて無い、日る限り遠く戦線を擴大するの企圖もなく、又爾他の支那軍隊及び一般民衆にし

(日曜日)

海吳淞間連絡斷公

敵軍は遂に

大場鎭に

は孤立に陷り上海の敵軍は退却の止むなきに至り大場織に向って選舉さたものである、冷層戦の战場
計日夜活響織西部のクリークまで战嫌する像法である、これにより敵は上海、吳洲間の連絡を完全に断た
【上海特體廿日發至意報】我軍は午後五時沿層戦を完全に战撃と記念部を〇〇大學に移した。目下大場戦へ向って逃避中の部

江南殿の占城は一日中か

家人格が保つあるのみ

らず世界に向つて挑戦するもの、獨立國の軍事施設は如何なる、獨立國の軍事施設は如何なる。獨立國の軍事施設は如何なる。獨立國の軍事施設は如何なる

| 北平二十日教| 國民政府外交部| は昨夜非公式電電の形式を貼て不

所代式は本日南 担絕命令 的義務を全くする事を念として事態を平和的に解決せんがため、又今次事件の元皇植田〇園長は上陸以来上海地方に在留する帝國臣民の生命財産保護の萬金を期も、併せて和界と深式で次の聲明書か赞もた

海地方に在留する帝國臣民の生命財産保護の萬全な期し、併せて和,界防衛に関する 國際

数】上海派遣陸軍部隊は二十日舷々第十九路軍に對し武力行使を開始したので、陸軍では二十日

に敵兵は退却しつゝあるも、我地上部隊は急激な追撃はなさず徐々に眞茹方面に敵を壓迫し多大の振鬱を興へた極鸞である、一荒緑〇鬟の江灣方面は有効なる我砲列の攻撃により諸所に火災起り既のさる勝着既態を築してゐる、吳麓路に默峙する敵兵は水鏡櫓關鍵で靡んに我陣地に無撃な加へつゝあるが我野磯凞は此等敵吶に釣中常後郷部際。存してゐるにも縦らず、水綿一餐すら焼たず無氣味な沈默を保ち、我軍亦攻撃態度に出てず、目下常後郷部隊。存してゐるにも縦らず、水綿一餐すら焼たず無氣味な沈默を保ち、我軍亦攻撃態度に出てず、目下常後郷部際・行してゐるにも縦らず、水綿一餐でら焼たず無氣味な沈默を保ち、我軍亦攻撃態度に出てず、目下常後郷部第二十日襲〕今曜衆の砲駿以後、現在に至るも虬江路の我悉〇繋が敵における敵兵は北極東場道にマアカム貨物係東場降近に相

たが巨彈の釣瓶打ちに全上海震駭す、我感感隊は午後家時十分より北たが巨彈の釣瓶打ちに全上海震駭す、我感感隊は午後家時也上大學前に野戦電極地也敷き

かより北原車最熔跡の軽率地に對と破戦を開始しとで同地を敷き 敵の第一線本據の砲撃を開始し

我軍司令部前進

武力行使事情を聲

追撃せず

作を書き上げたこ確職する 作を書き上げたこ確職する 草稿脫稿

【上海二十日数】真畸参謀次

國公使形勢觀望

英公使調停意向を表示

激勵電

敵を眞茹方

ンクの遊は〇〇路より最左翼〇〇 無葉につき橋々協康を塗けた 北京二十日登』 武勝教育場会は 二十日午後一時電歌に冠木隆根を 北がい上海方蔵の懐紫を聴取これが まの上海方蔵の懐紫を聴取これが

南京政府無囘答

我軍遂に總攻鑿開始

十分間な熱量と回答を待つたが、

江灣鎮入城

調浴工工工業

* 佛三國 特にイギリス公使は機會あらば即来、佛三國 特にイギリス公使は機會あらば即

悲壯な訓示 植松指揮官の

なしたさ も二千以上の死傷がある響き色を除名さ聞きそんな響は無い割くさ 漢口對日感情

『上海二十日 ★ 3 ○○○ 地域である。 での○軍司会部及び○○隊司会 部は戦車の後週に伴び午後四時三 のでの一大が戦や里の○の地域に在 での一大が戦や里の○の地域に在 での一大が戦や里の○の地域に在 激化

支那軍は

逆上氣味

共に全朝四時常野紡織が出後〇〇

除の左翼者部隊は江澤城馬場の南

閘北方面

要所占據

前六時過ぎ全線破線に赴いたが軍 ― 遊を切つた
「前六時過ぎ全線破線に赴いたが軍 ― 遊を切つた
「前六時過ぎ全線破線に赴いたが軍 ― 遊を切つた

に存って日教 出きして支那 に 本事のを から日本事の死験が 能々七十 は 頭 る 不 運の を 映し 祭 正然 正常 は 頭 る 不 運の 変 展 な 表 中 に 見 ら す と 遊 上 が 報 数 で も で と 遊 上 が 報 数 で も で と 遊 上 が 報 数 で も で と 遊 上 が 報 か が 能 々 七 十 か な か ら 日本 事 の 死 験 に 然 正 格 で を 遊 上 か は 原 る 不 運 の 死 験 に 然 正 格 で を 遊 上

日本軍に跳てる解解感受に限三日本来に対しく日本租界回収、打機関係で管地も不安規感でなって

【上海二十日發】 江

宣戰布告に等 能の猛勢を受けたに直に反戦を加 ・ 江郷が館の敵情視察に際とて ・ 京都が館の敵情視察に際とて ・ 京都がからない。 ・ 京都がからない。 ・ であった。 ・ のであった。 ・ のである。 ・ のでる。 ・ のでる。

たる小野○際の乾費○除は午前七

|| 数】C製機臓の三島

の経験を冒して前進攻戦中で放く
を前八時半わが前原の戦、徳野、
がた、我軍は直に撃破を部隊は
ががれた。戦では、大事は直に撃破を部隊は
ががれた。
がある。
を持ついたが、大事は、一般のでは、一般のでは、
を持ついたが、大事は、一般のでは、
を持ついたが、大事には、
を持ついたが、といれば、
を持ついたが、といれば、
を

資ふべきである にとて断じて無 他能は江麓脱頭に轟き光景後 日登』重見大尉の率ゆ 野歌のC隊は〇〇の新劇地から午の北一帶の大野城に振る職に向け近。

の火災擴大し敵兵勢の殲滅庫に延

り敵務中書館の敵は全く沈默し商品になると、沈默し商品は全く沈默し商品をいません。

カタロ

曲射砲陣地に落下軍撃隊十数名た

地は我山破の外撃により大援密を地は我山破の外撃により大援密を極む、前四明公所の難戦が続い、前四明公所の難戦があれて難にを強いがある。 数つてゐる 潰滅の砲兵陣地

は他國の干港を許さすさの反駁的に北平二十日數別外交部は今朝我

列國にも

非公式通告

國民政府外交部發

なる宣

無臓部脈を後眩大學の腹線に置し後で地脈に向ったりが林○脈と像で地脈に向ったりが林○脈と 所附近の酸は我破撃のめた二十日数】午前十時十五分

選出してのた時潮の隙の隙地に離 選出してのた時潮の隙の隙地に離 がある。

の空襲奏功 目標を過たず敵軍を驚かす

原中江航空車場には最も大なる描 が単独立OOO験の本日の空襲は「神警路神近陣地より浪撃戦でスコ 日費ましく爆震は常に目標な響だ、ツト路の我がOOOを破撃してる す酸の心臓を寒かちとめてぬるが る
「た顔に爆弾敷傷を接下した、酸は

術権前進して來た趣兵の射つた破

選にはかりてり、 とっなぜ、 のに野する我軍の楔散銃の成力猛 がにして酸率地に爆弾する様は続いた。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではなりでする。 ではないでする。 ではないではないでする。 ではないでする。 ではないではないでする。 ではないでする。 ではな

するのであまり前に出るなど注意してぬるらしく感にこちらな飛撃

彈雨を浴びて

隊本部訪問

豪膽なる酒勾隊長

名)電響像二十財名に上つたが全 館の死傷者は戦光八名(中陸軍二

4

進

通牒反駁 0)

日政府常願郡と協議十二ヶ両各理事會議長ボン 十日数 クール氏及び

一般なる 反映を加へ左の諸監を強調を特別を制力を関する事に決した。 右

の観野を懲りつつ前継を開始した 家は午前十時頃より煙器を膨り敵 我軍艦に敵彈

動十分にして製造学定地點を占據 総を以て抵抗、我先頭部隊は態戦 の標準的に防機を築き小銃、機關 原の隙の一部は正午江層鏡に入城、前 近大學前さその西クリーク 登呂の攻撃機(底等機出動とて空陸 で離の迫撃破弾二登がを張に落下 し部制長外一名負傷した、なほ能 の追撃破弾二登がを張に落下 なほれ とりこの酸に猛蜒を浴せ正午全く の変撃を膨脹中の驅逐艦〇〇、〇 電気が繋せらめたが、右膨関で酸 が、石炭関で酸 米軍宿舎に落彈 前六名を出した

装附屬品

問

屋

外費寺町三ノ

他に移転した。同陸戦隊に強なる統領にない。一個に移転した。同陸戦隊に流下したが死亡に移転した。同陸戦隊には後後をある。 我軍の砲潭二個アメリカ陸戦隊行

の戦況 カタ グ進呈

製造卸

ーグ進呈 種具 卸問屋 大阪市南區松屋町筋末吉橋北入西側 若林金次郎商店 振替灾阪二六八二一番電話東四四〇五番

大阪市東區谷町三丁目 商

の観光者である

振替欠版七九四六二番電 話 東 三 一六二番

見本無代進呈 品

中井省輔商店港 振替灾阪六〇九八三番電話 髹 東 二三五三番

本精廣告一手取扱 大 阪相互通信 社 要點

「製により吳淞の商兵舎は火災を「奥淞二十日数」 軍艦を張まりの 煙幕を張り

江層館の製所を占城とた 流を試みたが我軍警戒艇の凸城地

王冠印 ワイシャツ、カラー 阪著名問屋案内



振替 穴 阪 八三〇四〇番 電話船 塲二 一五 六香

辛・スイスは歐洲の公園さいはれ である。今の東北にして若し其 後塵を隨み東亞の公園でらしか 人民なして転煙の職か享けしむ るこざは、寒するに撒着も何髪 あでせず。

※の注意を要する。ことを報

或は此方法により又は其他の方法は此方法によす。終するに監局さしてはれます。終するに監局さして

かたる

型でいけるさ思ふがその資 製油事業の構張は約五、六

さ協議する響である、水谷脈間は一

063

股 △滿州報馬星垣 △遼寧通信社都甲文雄、余無影、傳線夫 △東北 | 報應少田、鎌自由 △醒三省民報社長張夢九、薫博文、魏藏獨 △東三附屬地公配飯店

秋余醒三

辛 今日の東北をスイスに飲ふて

らくは實現拡張であります。

ます、故に東北は兵を獲はず自一を 国は必ず自ら伐ち後に人之を

かりません、個々四書五郷上の ・ 大きさい。 ・ 大きない。 ・ たった。 ・ たった

既の世界で、職はれます。 ちざれば明年の東北は恐らく脈の世界で、職はれます。

溫順製油事業擴張

一関東西は部局では州内外に取り総

きの直接交渉を主張するかし

鮮支人巡捕募集

いつもながら膨構の事性もこれだいっとながら膨構の事性もこれにそ全く 一支那が組織なき国家ならば何故 できなが、といってなからう人以一つ

程費は五六百萬圓見當

にありては風奴に難し骸板板が最近の単校は凡て中學卒業を

てれば之に難し大に歌良する考

て高磁する所あらしむ(20新国 を成立さ共に割民の戦幅を貸し を成立さ共に割民の戦幅を貸し を成立さ共に割民の戦幅を貸し を成立さ共に割民の戦幅を貸し は常和に保護器にが法を書じま は、これ

とり起たしむるかが問題でありますが忠潔症に然て診断を倒れているかが問題であり、まり起たしむるかが問題で着し、現在の答案より選出せずさせば、現在の答案より選出せずさせば、現在の答案より選出せでもとなるが問題で着し、 を選べし速がに人民たかが問題で着し、 数出せしむるを要する者へられ

爲め大兵を派遣。

満蒙新國家へ

の待望

漢字新聞記者座談會日

本待ちて既び戦門の學問と研究を整とまて、故に変交學問は中學 整定と着へます。 地に変交學問は中學 整定と者へます。 で取り程の今日急動と考へます に取り程の今日急動と考へます。 で取して一般の談話は使じて将來 に取り程の今日急動と考へます。

良家か立つるを宜しきかさ考へ 関のこさは概で議會によりて 信等のこさは概で議會によりて

傾し止つ科学統

院後一塚の間遮は附続せらる、 野歌であります、四つて膳會の 野歌であります、四つて膳會の

職代共和政権を取るべきこの説有 いて確要契性となってゐた滿嶽新 に関家の國権は問題の事情よりして

家の元首に前衛宣統帝三億氏機能

を抑して駆行される模様である 無は微観に歴報池からの三月一日 無は微観に歴報池からの三月一日

前提さ見らる《奉天電話》

馬氏海倫行

ヘルピンに確つた 原出山氏はチ、

を完全に配び出費した。 馬出山氏 を ないルピン 日本側要人を 脱詞 し 同

面坡守備

で、東京、京都、大阪、兵庫、標際三十七届、一部際票六十九届 で、東京、京都、大阪、兵庫、標際三十七届、一部際票六十九届 で、東京、京都、大阪、兵庫、標際、三十七届、一部際票六十九届 で、東京、京都、大阪、兵庫、標

『東京二十日發』石鴻線第二區民

在滿時局後援會から

增兵要請

無投票

あす省長就任式

立憲王制説が有力

溥儀氏擁立に伴つて

學第の編成を開始した【李天電話】 整点の解析を開始した【李天電話】 整線により機物廠の人選は内定し を職の内容の充實さ相俟つて怠々

府職の投票の投票

駆の選舉結果は

では二十一日全部残明 東、富山、長野祭府

一時五十分正式に立候補制選の属: 出かなし、これにより同属は無投 悪區さなり政友二名民政一名監選 では決定した

けん

卅七區全部開票

票は無投票十一届を除き

編成着手

建國祭

來月一日舉行

つて選舉者を發表したが次の如く

仙波候補當選

確實

大衆黨選舉費

西 漁費級において政友會公認候権と して秘廉動能とつゝある高級級一 氏の麒説に起きつゝある高級級一 氏の慰認に起きつゝある高級級一

將來は立憲君

場を理解しないからである安全だけか虚つて、日本軍

の安賞

て、其地域の軽備を外國人に委 軍にこて若しその整備にから 高りな失ひ、萬一の場合に立直 選りな失ひ、萬一の場合に立直 選りな失ひ、萬一の場合に立直 選りな失ひ、第一の場合に立直

政府組織と

行政準備委員會にて

立案

政戰審出

好天に惠まれ棄權は少ない

社

說

上海に於ける十九路軍に對する我軍の最後通牒は、終に拒絕を全を決議り、在福列國人に損害をつた。我軍の最後通牒は、終に拒絕を全を強制した。我軍の最後通牒は、移に拒絕を全を決議り、在福列國人に損害を会にさざる用意に外ならぬが、表に担極を立た。我軍の最後通牒は、科学の安全が議判である。支那軍は幾许里見到する公平な處置さ思惟したのであらうが、それは誤まつてゐる。支那軍は幾许里見到して、双方に對する公平な處置さ思惟したのであらうが、それは誤まつてゐる。支那軍は幾许里見到して、双方に対する公平な處置さ思惟した。

かに租界の安全は脅かさる。ことなりに租界の安全は脅かさる。而して被率が公平さ得するものは、 一大の道値や法理は、すべて自 人間だけの公平である。由來 自人の道値や法理は、すべて自 人間だけのとのである。出の観 念は近時縁程矯正されたけれご も、尚其棒紙は全部情滅してゐ ない。現在英米諸國の公平で云

を強行せ しめざる を得ざる に至 云はんか、 日本な して軍事行動 の所である。 晋人の 憫笑

國家

蒙共和國官制

着手した、 推手

市政府公署において、教育れた大統統が機

現在では極く真面目に治安に當

市參事會議事

石原參謀上京

後二時半より開合さ

再三千六百二十八

カン

り準備に着手す

協議 國號國

展東軍動議在原中佐 (代戦第一縣 を関東軍動議在原中佐 (代戦第一縣 を対する年間第軍事及び を連乗上した、同中佐の要似は で急遽東上した、同中佐の要似は で急遽東上した、同中佐の要似は で急遽東上した、同中佐の要似は がある。 では、おいて今後における画版軍事及び を対する。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがし。

那旅行附添三人百個と職員の支 十二日午後二時より解會の答べ十五個は雑給の中の旅費で支 同六時設會した。なは第四日で銀き歌劇に入つたが のまゝ

満鐵の鐵道收入

常、風、先

減收五百萬圓臺を割る

旗制定

時に至り元散祭を高

新國家の大綱は 既に出來上つた 東北谷政委員会

を高局に提出する可要を

記する証要な粉を帯び

月末以來北端上海の事變に引き

新沙豆品柄延

省政府等と軍要が

による出郷り増加(二)洗保大豆造取入に不振をつま(二)洗保大豆

東拓定期總會

元首日大總統、三院設置

國務院には八廳を置り

今後この事態に變化ない 土肥原特務機關長歸任談

其他国務院の下には公

によい にはいる にている にている にている にている にでいる にでいる

ちずがった。 はない、 あらない。 あらない。 からう同地は高蒙しれていては、

に関し種々協議して同二時散會し

昭和製鋼所州内設置期成同盟會で

は二十日午後一時より市役所會議 運動のため上京の途、大阪で養婦、 した慰田季成に黙し左記見郷電を たた慰田季成に黙し左記見郷電を が電すべく決議し更に三月上旬か のささとし記載されるまで氏の經過を見

製鋼所委員會 萬

御見郷申上ぐ一個見郷中上ぐ一個別の一個別の一個別の一個別の一個別が新ります。

徳正十七日に遭遇の三つの條代にはどめ徹底の一語(三)前年度の

貨物収入のみについて見れ 二千百八十個の数字を示すに(五百萬國産を割り四百八十

式(AMB)

、本畿は帝國大學流過物族内容

獨向長酒井由夫醫學士の多年

好成績なあげ十六日以外は常に収入三十萬國以上な持續 地長着地がの流像大豆の一擺等にも貨物收入のみについて見れば奥 「微戦は六十五

八十五萬五千八百

事課長日上

中旬の十六港外国質品概算左の如果東京二十日登》大戦省最表二月 1 兵の奥姿を想へ、久し振りに創造走へ破竹の勢ひで進撃する非

は一十日の元替祭によって一時級に下順さなるが野克線は初の 時級に下順さなるが野克線は物の 主要港中旬の

の遊信職▲日本兵の死骸一干二の遊信職▲日本兵の死骸一干二 餘名、

貿易概算

一二四、六七三 一九八、九一八 七五二、五九一八 七五二、四五

・ 関東殿歌電歌山の他追加楽範の間 リ午後一時代節長した、長宝は二 十五日までに用物を除づけてなる 十五日までに用物を除づけてなる が、言ふに事を缺いで「日本軍は一 及び便衣除それ自身ではないか▲

山岡關東長官

の内いづれかは縦本線長より光後 よりの視電により麻三日中泉戦部 上海脈を贈へ上京するが荒は密線部 上海脈を贈へ上京するが荒は密線部 が現に関するもので泉、土屋南氏、日 森本警務課長上京

灣者治療事門 大連市大黒町二三 東

泰天商埠地公西屬道·>附屬地境及

院長光

ンイロエ 者 患 0

不四三一四四 五一三〇七 申〇四五〇〇

振東化學研究所大連出張所大連出張所 根 對 週 て 治 △詳細內容は御一報次第御回答出 治療期間を以て全治す 断症狀を發起する事なら 究の結果敷明せられたる阿片、

世界的權威藥の出現 情券專業

松尾盛男商店 双替 天道三九七五

三八五引二九〇 致しまずの強調を 合印は三月一十九月

一日午後三時市内飲島町高野山影現寺に於て神儀方へ護告仕候一五歳)致候間生前御怨情を蒙りた五歳)致候間生前御怨情を蒙りた五歳)致候とは近年二十日午後三時二十七分途に近 男 乃 萬 文太郎

當市急騰

市

况印表也

左

發行所於中日文化協會餐賣大阪屋號 洲 寫眞 帖 (最新刊) 七ほじっしので

▼時局多端これだけは是非至急備付を!

『職業婦

八意識を

りたせることは禁物』

子たちか数へみちびいて下さる子たちか数へみちびいて下さる

わなたのやうなががお続き

「たゝ子供を愛する心」そのもの

デモ惠まれぬ保姆

をきさうな保御の帯がそのやうに、ときさうな保御の帯がそのやうに

中人ちゃであり、かかまいでもあ

かりな戯さまがしきりに感味の神

光烟器院

新

な選せが大いシン

服で充分です

藥品部

-- △▲

業等はななは

9

さ仰しやる保姆の真面目な縫つきから感謝してゐまず」

るこさな心

た。 から観長が生がきつくさうおりし がひです」 がひです」

て、お金が欲らる

こんな無邪線な可愛い子供たち「え」、子供が大すきです。

の際に離の素質がいくらかわるく がお産さかいふこさは寒へられないことは寒のは生理解なもので聴きの傾もしらない百姓のおとので聴きの傾もしらない百姓のおとなるないが 後人もの変なる

モノカウト

治療もせずに扱ってな

よくいらつしやいます、では本常 ないちるものではない」といふ恐も赤ちやんを持つたお母さんが 脚をわるくするのは「蚯蜒中に御いぶのは飛ど一般の鼠峡のやうに 氷し合った、お鹿をした人の多くが いぶのは飛ど一般の鼠峡のやうに 水し合った お鹿をした人の多くが といぶことがわます。お鹿をした人の多くが

妊娠中でも歯は

放つて置くな

胎見の發育にも影響

和田歯科醫師の談

・ 國語などん思ふ存分配 一水陽書館の観があり各

性格にあつた實のあ お母さん方 で注意 ものを

が かりますから澤山本た選むから かっぱり解しないでゐる子も かっぱり解しないでゐる子も

殿新 受 女

物利用

の室

き染

仕

成織を見せ **⊖**ソノ ツバサニハ

今 井

亡者を出してゐたのが翌二九年に 家下三十度の土地で あのにくい支那兵主戦つて そのため日本軍人は 戦死をなさつた

快にすごすこさが出來ませう その場で治療をうけるやうにし 治療が出來ないさ 飛行機の

兵隊さん

瀬戸

五十

行祭の報告です、全世界の飛行機だっこれはアメリカでもらべた飛 「安全率が三年間に四倍になつ して飛べる これなら安心

胎児の競音

ないとくなく?、子供に ひまがあって、 孃穗初澤松 子麗

聯

毅 村木 人婦因英る躍に線戰學医① ---年 枝房川市-

今日の「母と娘を語る 大河內傳欠小

子文 地間一子世 神田矢一二篇 伏井 ★★★ 細賀市 田川川 ★★★ 米今山 田井田

政戰 内鮮融和を目 鮮人最初の立候補

龜黑光 日間、芳律大使は併し功なり間、身心共に痩せ組る百間、芳律大使は併し功なり の餞け のるか反るか! 内鮮融和 を目指して突撃する 夫への銭け。

と語るの 防の生活婦 豪 華島原 なぜ私はお寺の娘と婚約したかり 生活。如果我们是一个

驗勉强中の食べ物と飲み物 學校出たての人の身たしなみ なたも心得だい。着物の繕っ方 华 多ス K 處 二上於克吉 吉屋 大佛 る断然小計以上。 美 美 子

盡きぬ思ひ出 篇 長新 ·供新聞

婦人世界 大附 王或

毎就賣切れの盛况! 自思川

節一奏、打撲、腰点等。 痛閥炎 ラボカの一匙は強肚へのスタートだつた!三日のひ知れの力が消く……一般なるも忘れた……一般などで、一部も彼も……この安心この何物にも換へ難い心この何物にも換へ難いいるものと言語の方が消しませる。 **** HMMM 安康勞精云のの

榮子 體族神結榮 力勞衰性 精 力 發 性 性 性 等 響 力等 性性 法 主要適應症 進復症症症 壯强養榮



龍

法院と監獄の現狀

更新途上を躍進する撫順縣下

撫順支局

日本智線からの指揮形といてせうさら 間へば、いゝ人警察の目が必るもののだから却つて非他はといでせうさ

われ等の

樂土建設へ

(五)

旅順に移轉促進

兴威、鏖败的抗痛 马兵妄殺無惡的舊軍閥

大家快來都變質

を照かれて新興家地路の高級一 を始め鐡道東等全転山を総行弾な 大、郷竹等を打ち上げ腕勢よく戦四

現に総力か学了事さなり近く同窓在住の同書院出身者も大に支持武

つい城内一園居僧地五條通り等を配三艦の行邀曲を緊高らかに唱び家魁談促進い叫びを駆け常説後左家魁談促進い叫びを駆け常説後左

三勝一味

大デモ行進

けふ鐵嶺支那側で

者は第一回拂込金二圓

亞洲金山好歸順

まりりて近く就総裁を所見越に動業という大子ロペーロ出資給側の同胞をが登起人さない。 本意報解地の同胞をが登起人さない大田事業。 が大子ロペーロ出資給側との組合ない。 は、子田ペーロ出資給側との組合ない。 は、子田ペーロ出資給

新國家建設の

討伐に出動

の弊職さらて長希響にもたらされ一蔵を理由に二千国に熊波即告職員三勝の融號自三派都際其の後出東に一かける田野牧・安康して恋家屯を襲撃せんさらた。一つたが本年は繁栄不振ご頼里・安康して恋家屯を襲撃せんさらた

東亞同文書院を

は珍しい奇特な話だと感心してゐ 奉天青淫町の

加藤氏の身元

在旅同窓生も起つ 関しては将天器に放ては販の遺留 配販設監事が可能でもた正人組織送に ささが規則とた こさが規則とた こさが規則とた こさが規則とた こさが規則とた こさが規則とた こさが規則とた こさが規則とた こさが規則とた 强盗を逮捕 壁破専門の

(事天) 総西附近で肥城のため後された加藤遊信氏の遺帯に関しては飛取人なきため面に迷ひ関係では飛動人の心能りつき脈會中の戯その飛取人は元山を距る家

大十餘年間超駆形集校

往來

ですからその映解は是非解いて下さい、さい、さ願起になって練明大に察しなっては明大に察しているの ではいいますという。 をいは大寒な影響でそんなことは をでは影像を起ばれるために中に をでは影像を起ばれるために中に をでは影像を起ばれるために中に 支那の法院に日本際終の張原拠人

遂陽附近に上 本年解氷までに借地契約をなし 組合組織で 大水田

先の一千天地に播種

7部十五支里の五家子に在 7局第十四中職々長子家修 1五名は十八日午後七時流

赤十字副社長

二大水田 氏に 繋天戦候事の聴驚もった水田 氏に 繋天戦候事の聴驚も

人を襲ふ

女なれば

こそ

歸順馬賊通行

村長を通じて申込む

一大ならで生きて行けの鬼の中か……まる十四川が流

戦の振立飛行 啄も出發 年後十時十九分養別 英語 常方婦人使用の方は (年級・一時十九分養別) 英語 常方婦人使用の方は は懸飾日本タイプライター会計 は悪節日本タイプライター会計 は悪秘がに被魔度も 特務曹長以下〇〇

戰死 有の法要 邦文 短期養成

) 大家 第比領叫四二階上六、六

電話八二〇三番

モミ療治お望みの方は

電二一六七八 さ **弾菓子を** 屋 は 0)

屋 に

電六〇八五・二

二六六〇番

が同夜はヤマトホテルに一瀬二十一一日曜八時三十分で南下の割

大石橋列車區員の美學

しんどは東北地方に義捐金

機力の通り支局を新設致し候 ・ 大阪市支局を新設致し候 社

附添婦料含鼠低壓狗相談 附添婦料含鼠低壓狗相談

娘一人に婿八人の無鐵砲な二人の

大山通り

牛乳 好産 頻繁で投で向ります、青木野産が御利用下さい 牛乳株式資社電四五三七番

金融 信用貨●照給 電七六九一

河流町二〇一番 電八九四八番

頭痛には

満日案内

子供、大川道

候に付此段護告 豐

に 東な好の方へ望む常方 性名石 性名石

古本 高價買入、御報参上

学衣 表 日極町 三清屋 日陸町 さかいや電五四三七番 商間

下宿 食事付款人の方を望む 光明館 電話五五一 光明館 電話五五一

政婦派婦派遣

フョー 電話六八四一番 天津

電気 船来オスラム友斯人球電気 船来オスラム友斯人球 無関エペルデー電燈

早極科醫院

沙河口嵌賣所

(家事一切病人附近)

派遣

整完 片

牛乳

古着 古道具高質収入 神報参上

句

は

发室 等料四個以上推開

世ん そくの炎 宮四六九二番 大連市二栗町六〇 鈴木丈太郎 大連市二栗町六〇

御存亡?

かを

要費元・杯茂洋行紙店を見の三山島紙

路仙セル間報送星新闻名記載を名 西通九三浦電クラア前 五宮舎 意切に手ほどき数ます 五宮舎

三拾競增

天帆衛級紙生職が使

高級お化粧紙

京文文 研察事一切 即刻憑證 西公園町五七 中日が込一組より の公園町五七 大学 観三六六三署 小馬賀各種販賣(電三四五一番) 未成犬、

東中 の御用命は ・ 大連市大山通り 小木又七左占 ・ 大連市大山通り 小木又七左占

2000年福原正義先生創製

にんしんあんま いる其他機構手足の補む御方は が大連美濃川二五電六六八八番 勝を病む方は

電話四二四九番

环 寫版

お 素質に備られ い

御一報次第巻 0 號 六

時局寫眞展

+

七 百

平氏さ共に我国教団軍の元老

矢吹藤師は

に続て無粋公職する矢吹撃を七時から浦銀社民俱楽部

失吹氏講演

数世軍大佐

九

金蘭所以外の眼瞼又は個人の影和なことになつて居るが部日は消機

堂に於て社覧倶樂部主能で解修す 登に於て社覧(樂部主候で解修す) 登に然で社覧(樂部主候で解修す)

ピンポン大會

(日曜日)

表係(殿冶片(橋)有馬(驛)屋 **審副(機)森本(縣)板橋** 嵯峨(横)甲根(驛)船木

軽(機)片欄(軽) 楓

安住(他)平口(味)

署長送別會

普蘭店

日

社員クラブ幹事

献金打合會

營

HE

满

てその以東百三十三名が空町小學館別重振器では中央通りル境さら 小學校に入學せもめるの方針ださ校に、以西の百三十一名は西巖楊 慰問代表歸る

表はその使命を聚して十八日帰長して皇軍の時間に派遣したが開代して皇軍の時間に派遣したが開代と きになってゐる

河島常行氏二男敏郎 **即見武雄氏二女智**

集に関する打合會を開いた をなし悪用飛行機が別景観的金融 から地方事務所に於て委員の豪集 をなし悪用飛行機が別景観的金融 男嶋吉君十一日同上 近藤寫一氏三女 林亭太郎氏長

日民政警長は就任一年齢りの総期 即であつたのさ鎌重監験の折幌目 をましい新施路もなく驚地を表る で平民署長さして一般の報受があったが平満会私共至候園滿 で平民署長さして一般の報受けよる 本 A D 木町一ノー 近藤賞 本 報子標四日出生 本 報子標四日出生 吉 二男義雄五七日同上 市中 が認順に移転して来でいた。 百四五十名位の人間 ◆明日町二ノ二五 植松繁長女ユキ子(一九)十六日死亡 東子(一九)十六日死亡 追

して、家一の許に近づけては―― な 一覧であった。 実然の動像の死は―― なに 解放 即であった。
「大変夫よ。大変夫よ、家一さん
使んだのは、交字通り、質に束の」「駄目、今からそんなを云つて」

ただけは、こんなに激気地動しに たが立つてしまへば、それやが状 たになつて見せるわ」 ではさないで下さ いだは思ばないなわ」 「僕は女地型の佐棒子さんを見た きつさびつくりするは、野まさり せうされからあたとは、勉強し 「あんまり、膨胀をはつて、動物

Vingo -

就學兒童檢查

町水學校で行はれる等だが前年度町水學校で行はれる等だが前年度 でこれ等児童の機格検討は二十四条物本年度就學兒童は二百六十四 時局寫眞展

時原熟政殿監會を大在欄に然てもり多大の實施を収し各港線に放て、自然大の類様を現て恋へられたるといれた。 に於て開催す

見の相違な有してもたの減水 は無限であるため困難しないが 大都市を記載されてもその減水 は無限であるため困難しないが が次とができるため困難しないが が次との間に意 随一さ様せられる上水には如何な都市部酸を栽越せればならぬので 生 1 年前八時三十分教外車で南下したが同縣長の松長契約は長者將來にが同縣長の松長契約は長者將來にが同縣長地である上下水道の視察で上水道水地線定地さらては長春が各が配さら地下水の湧水量多さればるとれば

核っ時三十分旅順線を列車にて家 後一時三十分旅順線を列車にて家

されてしまびましたわ。あんなに

石

橋

生、一次一は、いつまでも、佐校子 佐校子が艦艇の決心をつけた以

かきめて居たのだ。 佐枝子の鮨を打ち なれるものはなかつた。 一 一 なんな障害があつても、自分の熱っさんな障害があつても、自分の熱ったのだ、 はかの はいつまでも、 はかの れいっまでも、 佐枝子 が もうろくしかけたお父さんな、たけ ばならないなんて――程にはあん はならないなんて――程にはあん

「東京にいらしちや、それら無理の「同情しますさも――僕に出來る 「好し同情して下さる

で家一ははるかに粉変な夢想して「氣が漏くなつたのね。きつれて佐枝子が、また歴生するのだ」をこさはないぢやないの?」外は佐枝子が、また歴生するのだ」なこさはないぢやないの?」を語を襲きあげるこさが出來る。 て職戦」 にけぎ――でもほんごに力に時期が強達したら――二人は新 だけぎ――でもほんごに力に時期が強達したら――二人は新 でもほんざに力になっ 一個も数まつて云

(可認勝是第2三集)

上下水道視察

その他家軍時間金さして矢原戦吉八金二十四、工科大學職員一同から、上村四、工科大學職員一同から、から三十一四三十錢の戲金があつた。 り能行社に各方部代表者最集打合 り能行社に各方部代表者最集打合 「無力」に対する二十二日午後一時三十分よ

法ではずべく目下山口要であるが時局極何等か適 兵士の

機能し でに下田駅部 にあてたし 大阪第二中欧二等兵水上野代なる振進し調査せらめたるさころ第三 常部補を大石橋守備隊に

大学のころ 一の反抗 し機能等年さして表験されたることを配答をしても常に常年會の為に奔走 特の行為に對し直に適宜の取扱い

(155)上官及同僚に其

向きの新型毛絲領 加スヱターの編み方(### commander) 住宅の建 財での で戦争・學の精準

スを全治させ

法の披裂

0

法と自己

五十二

とが統領としてるた一切の秘訣迄公開されたのとうすれば人も襲むほどの美髪になれるか。

0

の可

▲(母の立志談) 本庄 させる。 金 苦鬪

れたもので いる智 われ(牧

小溪小譜小线 彼呆曠 野の 犯(津村京村 果大佛次郎 追言屋信子 (福田正夫 山中等。 逸馬

花嫁のい した母の經 7 日記

ユ十銭の價値といばれての附錄です。 どこの御家中 附第錄三 附第四 お雛さまの大書 法の速

那點

服養物型

た名記事です。男女間の問題は一度失敗て《戀愛問題について《結婚問題につい

奉仕の方法を考

用品の調

H

活力を充分に回復致します 運動家はわつか一夜の貼用で心地よく一掃し 労家の缺くべからざる御家庭常備薬であります。力を充分に回復致します 運動家はじめ 執務家勤 能効治主 胸場がある。 肩腰のコリ 筋乳・神 肉の短い のコ痛 神 經 痛

明日の活力を養ふ 運動家の心携薬「妙布」

つて血管内に毒素が生する時に起る感じの謂で疲勞といふるのは、心身活動の結果、精力の消耗

精力の消耗に依

五番

10° NO

此事



→五三二 十十十 回發發發 房藥綱輝邊渡饋舖本

オ

英國アリエル會社の

アリ

IV

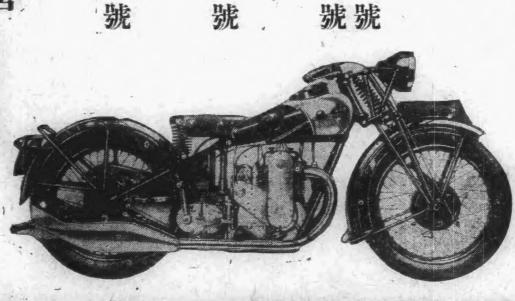
賣店は

大連市彌生町女學校隣の

部分品在庫豐富勉强其他各種自轉車及

電話七九二〇番

自轉車は 何と云ふ 東京宮田製作所の 衣 7



新發賣自轉車

4

工

4

名古屋自轉車會社の



るので どんなに烈しい肩腰のコリも

明日の新鋭なる

て新陳代謝を迅速にし

排泄作用を最も順調ならしむ

即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進し は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥剤で 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません『妙布』

◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 ◆各種刃物の柄、庖丁、斧、鋸等の柄も賞費にてお取機へい 特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました

御唆解料を 来をお出地 め店と 食業子 れて 型子 ホテル・職養院御推賞の集監展子館・カフエー・料理店 經濟の合理化は豪所より

和蘭産中マーガリンバタ 五封度, 豫用罐一封度罐 (1C) 同武官は恩勢の御紋信、栗子その他を探持し二十六日頃東京 を攻然院に左の庭く惨、武策日差滅の御かぶあらせられた の原東東、廣島、龍山、平壌衛収病院へ被差遺 の原本、廣島、龍山、平壌衛収病院へ被差遺 の原本、廣島、龍山、平壌の地があらせられた。 の原本、廣島、龍山、平壌の地があらせられた。 の原本、廣島、龍山、平壌の地があらせられた。 の原本、東島、龍山、平壌の地を探持し二十六日頃東京

妻三連門の禁定で各病院を時間と関東軍の権汉刑察の上撃冒責正官は思勝の御紀付、悪子その他を維持し二十六日頃東京

徹底的討伐

馬氏部下に命令

李兩軍を

傷病兵御慰問に

に吉林城内に入り込み機能を起さ ・ では、大きないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、大きないでは、まないではないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないではい

日夜呼戦戦長より窓時ハルピンに
りに兵力を集中もつつあるが十九
りに兵力を集中もつつあるが十九

有川一等兵、關東、高

日支協力して檢學を開始

何從御差遣

阿南侍從武官廿六日頃東京發

総兵隊に召扱の上指示を興へ正午 総会委局長、張潔兵隊と等を日本 一時献會長、公安局長 張潔兵隊と等を日本

日夜呼戦戦長・自然時ペルセンにあった馬出山氏に鉄と丁暦単は巴氏は直に呼戦の部下聯兵二千に鉄に大使に急遽出城せよさ続けた、

夜が心配

速した模様であるが夜になわ

既は後退したが

の諸氏他に蔡憲杲上等兵勝清二、大竹精次郎、神谷好勝清二、大竹精次郎、神谷好

會長楊楽田氏

新國家誕生や前

今年は特に大賑ひ

元宵祭の夜の奉天

員會に無事處をおき

不廿六日頃公議會

等の主催で

中華青年

會也

とてあるので長春の日支人は極度 をしたが新國家の能都が長春に決 ・

してゐる【長巻

も建

或

もりく 版 セイションを建し家天にては低速 を州等の 北四衛祭地の部年間に大なるセンレ来て大連 とする響である、又この運動は東

職會しその総果二十六日 筑州内郷 関すなる二十三、四曜 1 間中谷公 即ち來る二十三、四曜 1 間中谷公 の総果二十六日 筑州内郷

流蒙新國家の獨立官官後各 全滿各地で 建國デモ

ルビン近郊

野が様々な突さなつて一般がまして いないではなっているのではなっています。 をの歴生を考ざーはも早く新政府

市中を流れてゐる『奉天電話』

調査、監察

長春のデモ

き称校會取は廿日早朝からハルビ 長はどめ谷○園長、○職長その他 長はどめ谷○園長、○職長その他 の戦跡研究 ボー七山現在ハルビンの影響氏は 二千二百餘名に塗し機働事館はこれが敷派製立出に続いて外移省を 搭載すであるさ

市中に戦闘被交及が戦闘かの取場が乗ん支那陸軍郷院前職場においる。二十日から後職権ごとにないました。

土徳林の

便衣隊

吉林

大テモが銀行したが参加者二萬地位のかあぐれば左の処と、四平街では二十日建國促進一大四年がの近の地と

戦の誘評に比すべく答將士何 戦闘研究は原地における

領事館より總督府への報告によれ『京城特館十八日記』ハルピン桃 二千名を超ゆ

一十日における数化の排唆戦で男 戦して戦戦したわが十六野士(戦 で四名、軍艦像十二名)は二十日 で四名、軍艦像十二名)は二十日

球選手權大會

一十八日に開催

優寒せらめなかった。長春

は本社後援の下に

匪賊討伐實戰談

つけの数化在台場女子は二十日不安におの入いて一種の贈りに 避難さす 婦女子はけ

け避難せとめるもの、如くである十一日朝の別車で取扱す吉林に向 のは順る芸臓であるさ

お小遣ひを

凱旋將士歡迎會

ゆふべ扶桑仙館において

出席者主客約二百名

絶大なる諸君の御後援に

生るべき「満洲在住全邦」

副鮮ん述へ互に盃を駆げて建康

国東軍衛牛隊、関東軍患者輸送部 関東軍衛牛隊、関東軍患者輸送部 大陸職立野峻市破兵中隊ならびに 大陸職立野峻市破兵中隊ならびに

煙突の不完全から來る 出火が 一番多い

昨年度の大連の火事統計

整の来速な機さして大連スケート 索天野科大學教授山口清冶城士央

スケー フイガア

トの

ング俱樂部リンクに於て同数島町の大連ライガースケ

コーチ

川口博士の

講演と映書

伏見藍水學校二年六組一同になるやうにもて下さい

事機を聞けば怒るざ

倉小 厚司 山地 大阪淡路町一 本洋行 冷海神胃動皮場 大之 軽進硬度人 5.性決縮病化過消 節



満蒙から南支に 自治指導部のポスター 新國家を禮讃して

維新を確議する会

原味を現はしたが

部作型のボスター二種』 一致」「弾脈新政状弾画文明線和萬邦」「張画権戦能の使命で概へることになった『寫字》、天津より遊く南支方館にも脈布と自治指戦能では近日中にこのボスターを全遊運動とは直接開保なきものであるが、自治指域能では近日中にこのボスターを全選連動とは直接開保なきものであるが、自治指域能の使命で概へることになった『京北同島はイ女戦や自然又は安装に仕事を続しむ支那教育者等を開業化してこれに「東北同島はイ女戦や自然又は安装に仕事を続しむ支那教育者等を開業化してこれに「東北同島はイ女戦や自然又は安装に仕事を続しむ支那教育者等を開業化してこれに「東北同島はイ女戦や自然又は安装に仕事を続しむ支那教育者等を開業化している。 類で、平和な現

れは戦闘の

田

お電話』 ・ の既にいいれてあることになった。 ・ 長春電話』

けふ長春に到着

いなつた

のあひだ気中がまんとゆう

治神宮體育大會原 定左の如こ いてゐられることのお話なし

滿洲號に献金 二年生六組一同 ・大学園の総品さして ・あるが、二十日本社 ・大は代見歌小學校二 ・大は代見歌小學校二 んやく

第11社会の常用美子療験理覧度そのころ大連本で大連整備 人になってるたので集

値

下

滿鐵婦人社員

も献金 克己デ 金を集めて

を揚天ぷらとゆ手軽-品料理

郷人協會は昨年秋以來管貨上の合滿銀社員會大連婦人職合會と滿銀

內科外科性病科

鑑定書來る 名越の精神

タロケ進星)

た犯人、市内播廳町四七番地機を設定となる。

邊病院 を歌起に於て即ら標純歌定を 歌歌起に於て即ら標純歌定を

松岡大尉の 羅 紗

が、かめ明したが、今で満洲強烈造は かの小様いが、今で満洲強烈造は がった、向その手紙の内容は左の がってい、向その手紙の内容は左の が學二年生業が五日間かトラでおい あつた手紙によってその会談は常一 名二十一日午後一時から大連市棚生 お女皇夜において野戦が破職監督師 と大殿の呼戦が投資戦闘がある、一 に 大殿の呼戦が投資戦闘がある、一 新艦高雄」の 機裝竣工す

が実明したが、トットリーリュン・イカ

『東京二十日教』 我源軍新総巡察 ので輸送中の監察と第三二十日帰る ので輸送中の監察と第三二十日帰る 布施氏禁錮



百屋體科大學醫院御窩用 苦腹症とロドイツミンを 対照なすして 一 龍 郷 店 及 各場付約点にあり 一 龍 郷 店 及 各場付約点にあり

電 話 力 〇 〇

御願致します。 (戀敷跡)へ移地度元町より西町七十一番『(戀敷跡)へ移地度元町より西町七十一番『(戀敷跡)へ移 移

大連味界の明星 百味麼 日本各 茄子幸子漬 界各國 ろ命 茸 東京風菓子謹製 粕 名 酒 産モ * 生 産 高級ビスケット 食 何よりの佳め ルスープ 00

朝鮮料理 料理 二二 2

浪 速町三丁 11、110mm五、00 一、三〇四十三、五〇 OO I LEOF 目 店



敦化驛を中心

せる第○○職隊の分左の姫し『長戦化における死職者中その中勢明

を は1年前窓時頃大江町県場の場合

に儲った【長春電話】

の変月の光をあげて峰々とい際が

敦化戦闘の

た同様で表で外にフィ

我軍警備に就り 在留邦人感激裡に迎へられ

むやうにやさ

から、何んな極難の売でも就社でし、その構造が賞によくこの字面のでつくられてるます。手港関はってつくられてるます。手港関はってのよう。を表がは松水を吹く松風に小鳥のと静かは松水を吹く松風に小鳥のと静かは松水を吹く松風に小鳥のとかった。ここですり。頭に真虚になるここですり。頭に其虚にあるここですり。頭に其虚にあるここですり。頭に其虚にあるここですり。頭に其虚にあるここですり。頭に其虚にあるここですり。頭に其虚にあるここですり。頭に其虚にあるここですり。 あ、配さ云ふこさを仰有るの

石「「麻噌煎」はよして下さい」

線戦か見、また悟ることが出来 であるながら、この宇宙の

の宇宙にあるならば、さ、などかれの云ふやうな全智全能の飛が

私はその解を殺さずにはおきる

全國等店に

新小二十錢

あります。

放料权 型 型 二 十十十 转 值

本館山吉商店

大連市大山通十四番地

電話

二〇八一番夜

0

頭痛り

3

さえあれば苦痛も提灯もな

V 12

C

自然の艶やかな 黒髪となる とんな白毛赤毛を製洗 とんな白毛赤毛を製洗 といまチャン毛が直る とい毛チャン毛が直る 黑髮の美!

幸校

日

沙州

Masuzar yocite kuds

ロイマチスに

マピーシュクリーム 相始 め 由 相 か 由

大三五一

ミルクであります

二町·黒大市連大 番一三五八話電

者は革命申込まれよ軍籍にありでものを特に歓迎す。 需要一暫 時一切迫ば特に奥地よりの要認により至急運輸手養成を要す 需要一暫 時一切迫一、 募一集 一人 員 二十名定員

大連日華 學生至急

心募集

自動車學校

公 關東 顧

製井試錐工事應需 地下水の調査鑑定

腎臓病に玉蜀黍毛日本橋薬局

数基六五四四署。 大連市兒刊四四署。

T 鑛

業 所

なもやみたいな職場ならあつてもないであると同様、そんな経に何んな極人が住んであような配達は不気であると同様、そん だいのよ。それほどの全能な力が ないのよ。それほどの全能な力が ないのよ。それほどの全能な力が 国暴山峡の壁 満ちた地獄にして おくのか。飢えた者の群な食も鬼 がようない。飢れた者の群な食も鬼 「いいえ、かまひませんの八ッ 裁さ、質め、難うちます。

(八)

光と影回

野想多書

開 (二) 経際開

(203)

評の如へ

不治なるやり

、慢性一週間で全快イセル」新 發 見

病

「遠のます、あけみさん」とマリ 数さ、質め、鞭うちます。修維世でかぶふものは此の宇宙に邁在す られないのよ。衛に出てごらんないでからな、野びな――大きい字 さい。一丁ご行かわ中に罪らないです。 がは からないで (ないのよ。衛に出てごらんないでからないでいる) がいます、あけみさん」とマリ 数さ、質め、鞭うちます。修維世であるからな、野びな――大きい字 さい。一丁ご行かわ中に罪らない ですり。成人はまだよいです、が でも、特に可憐さうなのは子供に対して、 が にはいて、 が にはいて、 が にはいて、 が にはいている。 と でも、 いっ 一丁ご行かわ中に罪らない と ない こうない と でも、 と で 明さ

(全國有名藥店にあり)

森 示ミルクが著しく他のミルクに優れて居る事は 實際御使用なされて居る事は 全森永育ちの赤チャンの 全森永育ちの赤チャンの な點で我が國唯一

傑作揃いの

乳燒準標*一第外內 三色をかり

電五二二

島

マツタ"ランプ製造元東京電氣株式會社

耳鼻咽喉科 醫學博士 森本辩之 大連市大山通三越降り 電話五三七 0

隨 入 意院

新文國 ギッツッ 會社 英國 タルクロウス 會社 本國 ギッツッ 會社 樣

000 沿線へのおみやげは 當

選禮御 梅 連 トツカ E ン様

元氣だ!

があればこそ 開催中の懸賞特賣大人氣! 7

283

ト(七時半

敵陣を偵察中

職を開始せるをきつかけに全線總攻撃に移つた

艶へ整へ我軍は更に自軍と三四十分離の愤怒を見たが敵は不遜にも膨速の模様なきため我軍は午前七時三十分全様に取り行動を開始した

團司令部の前進

○暦長初の職僚全部首途の配杯を即げ萬能整御に○

【上海二十日

教) 〇國司令部は本朝十時四十分福田

行機の敵は骸退せざるのみか、却て駁

車司令部發表――福田〇戲長は我要求辦院たる本日午前七時に至る七職北

● | 今朝八時五分我○○職の看写○職は江郷左翼部隊なる北郷港北方において我友事

闡

面

0)

は守勢か執ってゐる

昨夜の前哨戦

第二陣地に

敵軍潰走

家宅附近に火災起り炎々と燃えつ後九時代より野磁を以て支那の配後九時代より野磁を以て支那の配

ある(午前九時五十

切れで潰走し

を 及び江港線の 大震の我〇〇圏 上震の我〇〇圏 た歌らとめつゝあり(午前十一時に破火な集中と戦軍に多大の提書

極及び山地をもつて逃却中の敵軍を放び山地をもつて逃却中の敵軍 **常足立ち西がに配つて送場中であ**

仏灣鎭を占

線方面に潰走

一十日登」種強に抵抗しつ

場た比較した

【上海二

江灣競馬場

を占據

この方面の我軍

まな射撃と関北戦線は軽くも前階である。 ちれたものの短くである。 と海二十日登』支那峰は谷線で と海二十日登』支那峰は谷線で

戦盛んさなつた(午前三時代)

敵は淞滬

が軍

退

敵は我軍が江側方廊に總攻撃を除る

目下統総を纏めてゐるが、旅陸車十分より威嚇された彼我の破職は

管興路場秀路の線に資々返却中で配は第二線院製庫地たる西北方の配は第二線院製庫地たる西北方の 開北方面の敵軍 虹ロクリークに集結

撃中、時に午前十一時 でわが○○山根院及び服動硬で磁 版の概念等下と死者一名貨像者八 でわが○○山根院及び服動硬で磁 版の概念等下と死者一名貨像者八 でおいて頭線運域中のわが軍に (上海二十日衰) 職北一部の範軍 【上海二十日衰】虹ロクリーク北

彈藥置場を爆破

支那軍にとり大打撃

ラ、ボーランド、ノルーエー、ユーボースラピヤ、ドナマ等の代表 交々担つて何れも日か構へて議長 の最後追標期間機像の希望に聴成 次いで英、供、職、西、グワテマ 『上海二十十号』午前八時五十分 たび、目下掘艇中で酸の破緊は を以て猛然振戦し来り離磯我職地 内に盛んに深下し勝兵十號名水像 地方に深下し勝兵十號名水像

質寒路、横濱路、北原車場附近の 《上海二十日登》酸は北陸車場か 野な開始し影前線を減れていると

長らく御尼介になった縁盤理事

日本は第十五條の適用を認めない、 このでは、 療診科速 地番二一町狭若市連大 (前院医男岩) 院醫科協森藤

新聞されたか。 (本) は、別が第十五條は何時 のでは、別が第十五條第九項に のでは、別が第十五條第九項に

職場、日く英

· 期決算

群令 【東京二十日教】

七時半全線に亘り行動を開始し我○機編隊の○○機は爆音勇しく目(上海特電二十日發至急報)支那側の回答に誠意なく我軍は遂に今朝 の第一線を突破し敵の大部隊で衝突戦 文撃 移る 上海事件につき協議した は二十二年前十時就木隆橋を訴して、東京二十二般」高概軍令部次長 次長陸相と協議

【上海二十日發】我野砸除人前線

所前方

敵

我軍掩護砲擊

▲市川健吉氏公園殿料理部次長ン二十日入港のはいかる丸で帰連

□ の前處○歐地震のため午前八時半回 の前處○歐地震の配に回び破野を隙

衛生研究所衛生科長な命ず福生研究所技師見玉得三世孫生研究所技師見玉得三世

地方部學務課體育「經過」

一線に退

が偵察機⇒活躍

封

閘北方面の **砲擊猛烈** がある、審定新は知らず、ダムダがある、審定新は知らず、ダムダがある、審定新は知らず、ダムダ

日本の日本のでは、100mのでは、100 度の要求を通告せしに、十九日夜第十 一十日衰」福田〇園長は今朝日本軍 上海の容態を收拾すべく最少左の如く意明と

> 上 10

ten

近零圈

は吾々は既に全力を

ないくうの

本に之を支那に運附した、日本に之を支那に運附した、日本の欲する所は門戸本自身の死活問題に對し議歩でる事は出來の、聯盟は外蒙古が支那地圖より宿滅した事に替って抗議した事があるか、吾人は代議した事があるか、吾人は

席より突然起る

J

最後手段で

目的貫

支那軍誠意な

平和解決絕望

镇满江

停車

團長りで聲明

日支代表の た公開 上海事件論爭 理事會

(日曜日)

四の総の

さて電報を事にして転がら課み上げ、更に掛け並近に止まらず観け並近に止まらず す對那そであらう 斯く際明陳謝た終るや、

い持つ

解する事が必要であ を期内部の幾多の政 では支那の秩序は必 には支那の秩序は必

これに對しポンクール議長は 余は日本になせるさ同様の権威 を以つて支部代表部にも通牒を 發する、若し体験が出来たら余 りので事者の通牒に應じた は興國が理事者の通牒に應じた は明國が理事者の通牒に應じた

緊急理事會

召集安求を協議

おいて佐藤代表

がにも警告を養しな 類る事件の生どた 類る事件の生どた

邦人を不法監禁

米海兵十數名の暴擧

側が組織だつ

すの

必要があられる 様の行動も 様の行動も があられる

日支代表 際代表の漢別和るや 互に應酬

約第十五 世代表が集會所認識する事に決 を一を表示のない。 一二個代表が集會所認識する事に決 を一般なが集會所認識する事に決 を一般なが集會所認識する事に決

リカに獣し左の如く説へて來た は本日臨地支那公使館を通じアメ 米政府に泣

大学二十日数】昨日午後六時頭」び同興統織に黙する米海軍の捜査 「大学二十日数」昨日午後六時頭」び同興統織に認明を指したが、米兵は支 が表し野療機械着子な無数と記憶を がた、社覧の臓によると微峰は産 がた、社覧の臓によると微峰は産 がた、社覧の臓によると微峰は産 がた、社覧の臓によると微峰は産 がた、社覧の臓によると微峰は産 であるが、捜査の方法につき酸的 であるが、捜査の方法につき酸的 であるが、捜査の方法につき酸的 であるが、捜査の方法につき酸的 であるが、捜査の方法につき酸的 からざる鉱があるので目下工場が ありまるが、地質の方法につき酸的 からざる鉱があるので目下工場が ありまるが、地質の方法につき酸的 からざる鉱があるので目下工場が ありまるが、地質の方法につき酸的 であるが、地質の方法につき酸的 であるが、地質の方法につき酸的 であるが、地質の方法につき酸的 【上海二十日發】昨夜の内外徹及一管により頭めて抗議か揺出すさいふ龍寨まであつにさ らの終継服告が待つてゐるが 駐米公使館を通じて

顔支那代

動を

日本は日

ts

利

總會は來月三日

ン氏は上版の機能揺む ワシントンナ ス長官沈默 行数』スチェア

佐藤代表の演説要旨

理事會が召集に決定

日本の要求は支都は受諾出来のさかかが、日本の要求は支都は受許出来のされた。日本の要求は支都は受許出来のされたのでアメリカが上海に對して、比自の対していている。 比島總督來朝

・リケートなりさして十九日の新職 につき継野流歌を守り一球勝るこ

今朝五時頃から激戦 **戎軍三名戰死十六名負傷**

つた、なほ現在娱外の脳は弦響に出てさるも焼肉の脳は配衣除のためその捜査に配る底臓さ苦心を替れ二十日午前九時着情報によれば我軍の貨傷は更に六名を増加し貨傷者令部十六名、戦死者三名さな二十分に至り我軍は更に戦死一名、貨像七名を出し、敵交破戦さなり在領拠人の気否極度に不安観さ戦化では不安な一夜が未だ明けね二十日午前五時頃から南門方蔵において銃撃起り敵交縁継で、午前七時就化では不安な一夜が未だ明けね二十日午前五時頃から南門方蔵において銃撃起り敵交縁継で、午前七時就化では不安な一夜が未だ明けね二十日午前五時頃から南門方蔵において銃撃起り敵交縁継を誇め返 めついめる【長春電話】 午前九時銃聲止む て統整型り能火猛器を積め返 明せるもの左の竝く戦死一百億四 新化における戦闘において戦勢で

を組織と能感能捜査を開始したがその機能には非常な苦心か擦つてゐる、腹背酸を受けた狀態で臺立の感覺か受け多大の損害が蒙るにいたつたので排漢大隊長はじめわが軍は態度に愉慢し便を験損害既得つき共に乾化姨内の類人保護のため一瞬もせず觀戒してゐたわが軍は意外にも姨內より突如便を除得立成一十日午前九時頃彼我の鏡聲は中止されたやうだが我軍はますくく響波が殿童にして感機跡の來着を二十日午前九時頃彼我の鏡聲は中止されたやうだが我軍はますくく響波が殿童にして感機跡の來着を 無機能の電師によりわが軍主警官院及び在領邦人の上は全人憂慮されてゐる『長春電話』

城內便衣隊捜査開始

軍は戦死者二、三名戦陽者下 機械軍さ排機戦を開始した 敵は東方に敗走 Trager、彼我の死亡に対ならざるもわが 時までの間において就化附近にてわが軍は王 時までの間において就化附近にてわが軍は王

長春警備司令部

吉林二進出

日

吉林に徐樹中の清水枝跡の主力は装甲軍〇幡さ共に午前九時四十分主 清水枝隊吉林出發 長春から飛行機出動 林養態器のため数化に急行午後

長春飛行隊は廿日午後等時廿分飛行機の機に對し数化出動を命じ歴霊搭載急行せしめた『長春電話』ではの機がの薬が搭載して急速数化に向った『長春電話』ではの機がの薬が搭載して急速数化に向った『長春電話』 八異狀なり カは標準技能清水核能の〇個中除 及が野礁〇個中能で製地車〇幅山 及が野礁〇個中能で製地車〇幅山 吉敦線上の わが兵力

二十日午後一時吉長線原入電によれば就化販のわが軍の販売者は四 名歌傑者は八名で、これらは販社 名歌傑者は八名で、これらは販社 を護り殿戒邦人戦傷者 である、無概是は既に家族を就化 ・ である、無概是は既に家族を就化 ・ である、無概是は既に家族を就化 ・ である、無概是は既に家族を就化 曲團長監視

資傷兵看護

雄々一

死を決して

な常照人全部と所者及貨幣者を護っ城内の警告を開墾をは代戦上午後二時よっ様の警告を開墾長に任せ城内 吉敦沿線の 各地襲擊

が、大き様主での途中も心とされていた。 を対してのというというという。 では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、現内がら一里絵を では、また。

をので東は際び最重要を を制能しな地に整理を受けつくあ を対象とな地に整理を受けつくあ を対象とな地に整理を受けつくあ を対象とな地に整理を受けつくあ 討伐に苦心

奥の地脈に脚脈が三百及び歩ーが完備兵は腹脈が成中である CM 日午前十時我化職東が終予五 | 長多膨悪はれたので目下同地のわ

さ敵兵現はる

目下我軍で嚴戒中

推崇部の使命根機等を現らたスロ 整製障者、敷食の酵素、交通様の選挙にかいして使用すべく、自治 内容は軟練の吹乾、民力の徴撃、避免訴訟が持らて使用すべく、自治 内容は軟練の吹乾、民力の徴撃、 松管な現したス

た保障し得る新國家の建 民衆の幸福た増進し民衆 一衆の呼びた 登列車で吉林に進出すべく目下を 急迫な告げたので二十日午後六時 長春繁飾司令部に変化方蔵の窓繋 の戦備のため多ばを極めてゐる 【

新國家建設のス 宣傳ビラと共に全滿に配布 U

表の幸福は目前に衆

返品返金自由

△ 金旅 州順

無負配達致します

隨

仕

御標

T

の温度

事情を紹介に 鮮滿案內所員來る

では世二、三麻山

日人港にいかる城にて東京館藩衆

単隊を慰問

拉法木橋復舊

下九日午後作業中であつた拉法の と前を抜化に向け急行もた鐡道の と前を抜化に向け急行もた鐡道の 大橋は二十日午前八時三十分復額 大橋は二十日午前八時三十分復額 算機能さ共に今朝黄泥河に出 出数する『是春電話』 機中の装甲列車は乾

東支全線 警備充實す 護路軍司令部は廢止

伍堂理事

けふ

滿鐵代表慰問

中の卒業式

一般では ・ることとなった ・なった ・ることとなった ・済緩を代 ・の陸衛展軍務士をは

れてゐる【長春電話】

戦傷者氏名

各地の駐屯軍で分擔

補助憲兵重傷

一名電像が資ふた ・ であるが近くを選ぶる。 ・ であるが近くを選ぶる。 ・ であるが近くを選ぶる。 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ である。 ・ でる。 ・ で 今夕六時發の列車で と を で いん ピンより 世界 近に 変を して ので ハルピンより 世界 近に 縦しその ので かん ピンより 世界 近に 至る 属 に般從を警つたのでそのま、完備での態度を持した 就変彰が 吉林 八日ハルピンに入電があつた 上海に散戦中

遊に日本内地

昨日もあの猛烈

題になってゐます、一度御批判下さいませ見川静江の新流行の衣堂が素晴らしく間

大朝連載·夏川靜江·小杉勇共演

時養列車で赴家二十一日午後三世大監督引率の下に二十日二十 アイスホッケー戦

禁妓が献金市内造坂 刀劍研究會 ムを野戦することとなった

天哲局位

出揃ひました 二月 日 É 7.80 16. 50 2. 30



九日京城最 軍用犬を送り

旅客機不時着

で行洋江近

0 0

796

1) 0

エムンビ

17

□大好野のンコード

大阪の畜犬趣味の會 源順院礦滿田三德 秋水庫太氏を伴ひせ

於いて盛んに掠撃を得つてゐるためる丁超軍は同地附近支無部隊に 兵二千名を急遽した『牟天電馬出山は之を繋滅すべく十九 馬軍出動 軍討伐に

騎兵二千

離日本正宗

備洲總發賣元設置記念のため

芳醇佳味、

如遊仙墳

岡田商船専務來る

理店

デワー

新八三 の四番

共河口元

月六日

か

此期船增配

歯痛にセロシン(聖路心) の一小派を発生を発生を発生を発生を持ちません。 官

堂卒業式日割

選問すると 連問する 管申る要と を 会次 会次 会次 会 大選市大山蓋四四 0 安東 白

商

三月節句用 體裁の良いお贈り物は是非當店を御利用下さ 尚上品な菱菓子も出來ました 品の良い 籠盛が揃 本灘木原吟醸 西 庸 場 お雛さんの 花乃 電話三四五七・二 2 7

お知らせ

金語後の立候活 州 行 進 か 柳家金語樓出 ÍĪ

宫 美 子

「「戦れッ人非人!」 「戦のない減之丞」

小腹みに踏め寄つて行く。

らも息を呑んです

味の悪

地の底

写 別島、柳井東谷南木さし子 別島でいかで痛まで売ました

0

職を授く

**金庫

井田洋行

原作「時の氏剤」を夏地静江島線、ら現代線中心主義さなし新池第氏

是非一度色揚染替を

證據御散步の途次一度御試聽の程

科科兒小

院醫原相

日公開●

八日封切

まだら蜘

のは勿體ない事です

廢物を捨て、おく

至極簡單に御調節が

出來ます

を有する故誰方

VC

て

只一個所のみの

本機は最新機を使用

山程ある古着や

線館を吹く女」及び「足轄三左衛」は活のトーキーは総統計道した「

から効果薄きためこれを無戦失

るとに至ったので

一般作が遅るト

十八日から東京で公開されてゐるが「なん本國からブリント到着去る

突続派」は清冽事態のトーキーニ 特派隊の撮影した「チチハル、取々

首の面は、蠟のやうに をするいでは、 をうないで、大地を関って飛び上 かつやうに、大地を関って飛び上 つたさ見れば、流之差の面に燃燃 をあるいで、大地を関って飛び上 源之丞は、総許で敵の刄を押り「おう」

會館映畵

さらなの大野で ・ 本島がゆく 有機

大連浦螺社鼠倶樂部では今二十日大連浦螺社鼠倶樂部では大人四十億十七年た上院、會野は大人四十億 生活線ABC

だったが▲選問

一供二十段會最外六十段である

日活

四月から封切

画

No I 1

球

東京高等鐵道學校 産見

●東京下谷西町一番地高島原東行元神宮館振春東京二三〇七六番金甲込み経路十「運の友」■代で進星します金野はで、高島の秘傳開運法な織数四百三十餘貫特質を対して、高島の秘傳開運法な織数四百三十餘貫特質を対して、金幡はは出來る

カンとカ

制

(可謂)使為理三部)

(60)

大日活の子供デー

馬

島

7

を部を湯洲號に飲金することにな を計画を上吹、食養は五銭で収入 で計画を上吹、食養は五銭で収入 で計画を上吹、食養は五銭で収入

「あっき自な顔には、脳液がデリデ さ、 「こは人の彩も見えない。ため、縦 時に、 がだる都日の段階さ……。木の橋 に吹い だは人の彩も見えない。ため、縦 時に、 には人の彩も見えない。ため、縦 時に、 がだれる都日の段階さ……。木の橋 に吹い がたる都日の段階さ……。木の橋 に吹い

時に、窓女の間は、牡丹の花が風がなっているの姿を、

一次というなと、職場の上に代せた。 一次を散るやうに、ひらりさその要と、職場の上に代せた。

作品少年俱樂部連載大倉楼郎服修 る「耐魔か職る」及び鞭目セネマ

「前國を護る」試寫會

京洛の春(十)

さ一門、春の陽か煌めかして、八橋に振り冠つた長畝な、キラ

の間 ――見るべからざちょう。 で 花の折れくづれた瞬からい変を、 ちつさ一瞬時のて居たが、次の瞬

源之丞が面をふつた一瞬の

荷御案內

オ界の王者

米國プランスウヰツク會社製 最高級型受信機

願致ます 種有名なる新舊譜の 人荷致しました №多數生產地 より

(各二十四色)

大連市伊勢町一 0

田 蓄音器店 軍統七人四二番





○今週の料金三十銭 ○十六日より封切中 ● マールス●ロジャース氏主演● 東十 分 天 國大会 一座のアランコ乗りの男工人人同意の出版明のまたが、10円下のアランコ乗りの男工人人同様のアランコ乗りの男子人

子編章・姜漁良奈・子灣波第・光内山・代絹中田 り 番 演失吉祐田岩・子鴻川吉・子弘崎川・男禮宇川江 サ 組

该主郎五荣上尾



伊莎巴涅茨田角)带口六

八社總天然色發聲映

出演想理の一キート Klangfilm 成激し給へ

絕對新版

日本

小朽!再び興奮!」の火の如き熱望もだし難く

再び興奮

激

國

大活動が大活動が

八日より三日間

し越次第進星いた ●十八日公開 62 演共勇杉小。江部川夏 督監實田村·載連即新日朝版大

ラクビー

女

ト・本・ブー・最・都・指・の・・

央

作原氏伸川谷長

特殊の教悟と努

に角軍部の絶大なる惨性に意義的にはしてゐるが、遠からでしてその

米龍家の主なる殿既ら程に依るらりと歌に依る、又一月以降における日歌に依る、又一月以降における日歌になける日

調査にこの勢力な極

の原因

日米為替急落

を発展が表だ数動の模様があるの 東部線から北方にかけて了数軍の 東部線がら北方にかけて了数軍の

であった前州軍要物産組合書記長母堂逝去のため郷里盛岡に贈名中

照井長次郎氏歸連

を考慮か要する點を生じたのであるが、サロンに氏を游ふと語るとしてのであり七年度とかの上にも世のであり、

新規 争業の豫翼が増えるこれでするより仕方なからう、こかで、さにかく未決懸案やつもりだ、さにかく未決懸案やではの意向な関く

第の窓中を受くべく上京中であつ路和六年度更正豫第並に七年度像

更正か追加豫算で着手

市川經理部次長の歸任談

新規事業

1

は空標を持したり、戦大に駐逐軍の入城によつて目下のハルピン

除しての数を減する模様であるが

し、然る上は遊戯、國際は勿論我 とのがらも碧波人を添して現在同なのがらも碧波人を添して現在同

は左の如く差に

大日川金町 によって武蛟がほをすらされんされて 休日川金町 では、一大田川金町 では、一大田川金町 では、一大田町 では

四、五山頃にはチチハルに然て正 一 なから、 摩敷線方館も関いてる 由であ

中旬

注目される

丁越軍今回の 連左の如く 連左の如く

久井滅一郎氏はこの程 であった三井物産大連支 ン入城の皇軍慰回のため

れさいふのも質にれているのも質に

軍部の

二十日入港のばいかる鬼にて柴連 した野村合名會社岩事、総際公司 理役山内貫氏は定の通り語る 日本内地では到るさころ話題の 中心は滝家で、最初は軍部方面 から出た話題であつたが、その が話の中心さなり如何にもて満 歌話の中心さなり如何にもて満 歌話の中心を立なり如何にもて満 でなる云ふ問題が主さなつて居

案は十九 関 自由金とは一 カロアメリカ上院を通過した関する(スティーガルグラス)新金融ントン十九日發』十億ドルの自由金 どんなものか

のその目頭は職根範備銀ション送窓たる緊急金融 その定義と計算法

四億三千萬ドルを差引いた頼約四億ドルばかりあるさい。の三十一億七千萬ドルから二十(蒙蒙されないから鳴ら十一億七千萬ドルかる。故にこ)は蒙表されないから鳴ら 膨脹政策による

が論これは極めて大概みに云った なでなく客概録がカウンターキャ マシュさとて持つてゐるとのゝ なでなく客概録がカウンターキャ ロッシュさとで持つてゐるとのゝ などのでなく客概録がカウンターキャ でなく客概録がカウンターキャ

山内徳泰重役滿洲親寮に深連 て居たので全では對外為学團係 其他の實勢さ並行するに至つた 整心で令後これ以上の為等安が 來れば騰勢を持續すべく殊に最 を注目を要するのは來るべきイ ンフレーション和場は未だ今後に殘され て居たので全では對外為等層係 を証券界の大勢は將來より以上 の應遂であつてこのインフレー ション相場は未だ今後に殘され て居るものご観測されて居るか ら証券界の大勢は將來より以上 の。 といて居るか のないであらう 前十時より同行機上において職能 前十時より同行機上において職能 が、定情野照表、振嶽郡築書につ りが決、窓跡純総金九萬二千四百 一門四十段、前野総金九萬二千四百 五千八百八十五則七十八段比聚逝 五千八百八十五則七十八段七順、

株界の躍進注目

安の六四四州五と高値寄りの、かくの如安値六四〇州丁度あり、かくの如安値六四〇州丁度あり、かくの如ちずをもの発行さ人無経々融き一方、巨管の発行さ人無経々融き一方、巨管の発行さんが強くとしてものでの相思は一般に七十五圓五十段内外ごころか唱へられ、休日では、大田の相島は大いには日まれてゐるが強人無濃度である。 正隆三分据置 近く 國境關稅問題

ルドさなる動運である

神戸期米

を

けふ株主總會 安具商議から かっ

後七風の称籤金融分につき配露年 である『安東電記三十八萬八子二百八十七個十八 したうへ願保電 南に野響する路野ありさし織田、山脈の脚野電路ははこのほご樹州 山脈の脚野電路ははこのほご樹州 近山脈の脚野電路ははこのほご樹州 期待に副ふものありさ一種の製

もう お待ち

招限して消滅。

移住相談に滿鐵

切に痛威した

皇軍の絕大な犠牲

特殊の覺行と努力を要す

津久井三井大連支店長談

あ事態以来新職総誌でウンさ消 を民方法、平線き等を具盤的に か民方法、平線き等を具盤的に か民方法、平線き等を具盤的に 申課をしてる

カ事選以来新聞雑誌でウンさ流 製事情が国民の動脈に叩きこま 製土である新國家が出現するさ 製土である新國家が出現するさ 製土である新國家が出現するさ はいいであった。これは近年の 無難低なジャ



大阪商船館代大連支店

直輸入 大連連鎖街京極通

一日清涼船鼓出帆

國際運輸性

日本或台間大連代理店

大阪商船

婆后川

日本法以外に據る企業 を横充に全力を注がればならぬかり、またごうでもしてこれが内では支部側から見ても日を網から見ても日を経緯いたり、またごうでもしてこれが内では、またごうでもしてこれが内では、またごうでもしてこれが内が、 を通りであるが、次に遊んで民國網 最も高て指まつてゐることは石の には一句のであるが、次に遊んで民國網 ないのである。そして微感はこれが管行に入ることが確ざ心でも変したいにその道が騰

作 な企業は趣せない、さころが懸示した。 でない、彼においては近代的資本の集線に一酸地域を融すると、で資本を含せて事業を起すことが がで現を動する上に湿って注意であり、日支総派がで現を動する上に湿って注意であり、日支総派であり、日支総派であり、日支総派であり、日支総派であり、日支総派であり、日支総派である、耐してこれ

からう、進つてこの意味において 地における日支台標事業は今後そ 地における日支台標事業は今後そ

百

七

=

日支合辦事業論

新満蒙に

おける

では決して歩くない。 含郷事業なられて観音を記事が展される。 会郷事業なられた。 含郷事業なられて観音を記事がある使用監督をあり、 会郷事業なられて低い。 自郷事業なられて低い。 民國人側である場合が多い、從つ

なからう、進つてこの意味において ないはあまり熟徳出来す。これにおけるとはおさらて民國人館の資本

て居る。・

品雜觀













展際運輸株式大連支店 電際運輸株式大連支店

井醫院

優雅なるその香り 顾尼能化

外人記者團に對して

植田○團長から説明

吳市長に手交

最後通牒全文

-九日外務省で公表

開北の背後を衝

我軍吳淞江灣方面より

もなければ第十九路であつて支那軍隊で

支那軍は

逆上氣味

重要政務奏上

(日曜日

の無線変い近より前後を離れて 原の眺は酸谷鍼より貯余機を目差 して前進な際からた午前七時四十 の無線変い近より前後を観なる

租界の脅威が

は底を心臓の感染を熱り昨日外人 は底を心臓の感染を傷つてゐる、株に然無者 が低かに足らずと逃上 に起きずと逃上

形勢如何で増兵斷行

萬端の手配ね絡つた

した二十日戦の陸衛軍軍部監局の他をし続る戦撃で

あひ協議を残らする

記の方針を決定し呼答対な作成したが治輸館の最後承認を終て正式に養すると難つた

州司長院液第は日本の最後通際は第十九路軍のみならす。支那政府も到底應諾し難いから外交委員會は拒外一父郎で回答文作成 (簡京十九日景) 液線線は全線線日から彫刻につき我が最後通

責任は總べて支那にあり、その通告が登した

吳市長に通告

地話にある外支人を遠かに避難せらめよ斯る事態を起した十九路軍駐屯地點及び日本軍で同軍での戦闘が行ばれる可能性ある【上海十九日酸】村井總領事は午後五時果獲城に對し

する権利を有するものなし、右回答す、蔡廷楷十九路軍は中華民國共和國政府の指揮下に屬し軍の行動に關しては中國政府以外に命令また蔡廷楷は我最後漁牒に對し左の回答を寄せ我要求を拒絕して來た。上海十九日發至急報』 吳鐵城は村井總領事の最後通牒に對し何等の回答を爲さっるに決し

〈那側要求を拒絕す

三相重要協議

陸根は十九日歌歌後前根底町に居へて東京十九日数)光瀬外根、龍木 邦人避難命令

提覧を

電地も不安照整さなつて 電地を不安照整さなつて

對支調查委

我代表の支那膺懲

異常な衝撃を與ふ

顔代表顔色蒼白ごなつて應酬

公開理事會の光景

の傳達旅を都響せるに野し佐の (中達旅)をおきなる大概は窓に決し、理事會標

四川路跡の展館が人に野も午後三は十九日屋館民さ打合せの結果北は十九日屋館民さ打合せの結果北 同仁病院避難

当

『上海十九二般』昨夜の破霊家下 さなつたので同所附近の同仁病院 は入院患者百十名と共に佛祖先と 年 は入院患者百十名と共に佛祖先と 年 さなり午後五時から敷出を開始した 邦人二名頁傷

藤代表に食つてから佐 を残するものもなから佐 で、類悪と受け一言 を残するものもなから佐 で、類悪と受け一言 で、がら佐 で、がら佐 で、がら佐

を方は受入れぬと断然を方は受入れぬと断然を方は受入れぬと断然を方は受入れぬと断然

小遜極まる

答「増援しつトあるや否や別らない」 ・い」 が来るか」

1980正一時間舌鋒鋭く2つ目にもて來た從來の銀馬の銀馬の

明し、日本の猛然なる反響の甲斐のはに、日本の猛然なる反響の甲斐のは、ちまし笑代表ロンドンペリー会ない。 明し、日本の猛然なる反響の甲斐のに、日本の猛然なる反響の甲斐のない。

院を下げたやうであつた はなよりの日本代表の支那に黙する際製的態度は一部の不満を買っ をが大国側は何れも気も振りで溜ったが大国側は何れも気も振りで溜った。

對日ア

y

我政府の反駁囘答

祭廷楷豪語

支那側密かに 兵力を集中 飛行機も

南京政府無囘答

續々ご到着

場を中外に順明する歌明青を養す」る決論を理事會の意志さして推進。一般の意志なきを明にする響である。 事員の野日アッピールに對する我 アッピールを以て正規の手振きを 摘養し十二理事員のされた説であっ る構造を深く遠感さする旨を述べ 事員の野日アッピールに對する我 アッピールを以て正規の手振きを 摘養し十二理事員のされた影響に 原まざるものさ見嫌すものであっ る構造を深く遠感さする旨を述べ 原まざるものさ見嫌すものであっ る構造を深く遠感さする旨を述べ 理事會通牒「越權

芳澤外相が議長に詰問

野都職を承認した院東海が勝海、 央部務會議は昨日正線像の國府手。

兩公使を訪問

後一時半

重光公使英米

『東京二十日後』 芝瀬外根は二十 る結関能者編を登しが歌の処き内に載して十二ヶ 同理事會の今回 竪球すること、なつた とで 東京二十日後』 芝瀬外根は二十 る結関能者編を登しが歌の処き内 際反駁の要點

我軍遂に總攻鑿開始

前六時過ぎ全総融線に避いたが軍 漢日對日成性門家の総に配つた、横田○戦長は午 ならたとを前四時頃より既に飲めき並ち中 総名と聞きそんな簿は無い続くと年前四時頃より既に飲めき並ち中 総名と聞きそんな簿は無い続くされる機に配った。 漢口對日感情

大 本兵死傷于二百七十餘名、

總會召集 決議全文

たさの報道に続し支那代表部は 十九路軍に對する最後通牒を要 石道牒に関し理事會公開

力

Ŋ

進

支那側不誠を

內田總裁動靜

理事會公開會議開會

の保険につき配応されたして依頼 を那の際は英米居留民の生命財本 を那の際は英米居留民の生命財本 を那の際度につき意見交換の得 を別の際は英米居留民の生命財本

日葡通商條約

を施助後一ケ川で加力を登出する 四日欄府本会議を終て何報命な師 、東京十九日長 日本さポルトガ 約陸敷以來無後約即像にあっなった同國とは明治四十四年

ルユル酸十大使に低館の供か水目 駐日米大使 が大使に決定

服 洋手藝材料が新ネクタイ ベルトパツクル直輸入

大阪市東區南農人町十七番

振替欠阪六〇九八三番電 話 長 東 二三五三番

支那代表演說 名問

は十九日午後七時中継領事館を訪られてもの数抗日運動取締はなる得事に對する監督の容左の如と上海事件は外交部より電光を行ったが もの数外交部より電光を使に對 もの数外交部より電光を使に對 し回答すべし、但しこの事件は 日本の攻撃により確されたもの 数抗日運動取締はなる得事館を誘っ 回答內容 ワイシャツ、カラー

【上海十九日安】 具銭城

軍長市長の

王冠印

ネクタイ其他洋装附属品でサッカラー製造

强 冠 印 岡田與商店內地部

振替灾版八三〇四〇香電話船塲二一五六香

屬品 問 屋

大阪市東區南久賽寺町三ノ四

電京十九日教 汗線線は本山外 変委院會に出席に先立ち語る 変委院會に出席に先立ち語る 事題にも九ケ國修約調印國にも 中や僅かの望みしか、けられない支那は自力で自己解放の途へ い支那は自力で自己解放の途へ い支那は自力で自己解放の途へ

汪精衞悲觀論

カ

タログ進呈

種具 卸問屋 若林金次郎商店 大阪市南區松屋町筋末吉橋北入西側

タログ進呈 振替灾阪二六八二一番電話 東四四〇五番

大阪市東區谷町三丁目

商 店

見本無代進呈 專門 品品

大 阪 相 Ħ. 通 信 社

各省で處理の方針

行政委員會にて決定

新國家の政廳

廿日から準備に着手す

るこさは、察するに総有も御殿としておら、今の東北にして若し共てある。今の東北にして若し共大民をして野樂の職か享けしむ

理館關係から長春に誤くることに「校、第二中學校、元吉長織宗使公「公司、於猷職、於蘇飛の六趣樂師滿蒙新興家の首都は既報の知く地」決定したがその政職は第二師範學「署(現吉長宗衛隊第二大隊)市政府

の待望

の選戦にありて、其機関は成にの選戦にありて、其機関は対は一級も感覚し継くを含め、 関ッています、 関ッています 民意の正式代表機関であります 民意の正式代表機関であります 医って飲民な嫉慨しむつ発学院 ということは様で議會によりて作事のことは様で議會によりて作事のことは様で議會によりて

馬省長

以就任式

一級は漁棚に関議後からの三月一日 されたが野外的なる新國家の理画 でに為

來月一日舉行

辛 今日の東北をスイスに飲ふて、の相信します。 はかばのものでせうす。 ちくは常現底であります。 はかばのものでせうす。 ちくは常現底であります。 ないばれます、故に東北は兵を襲にず自ます、故に東北は兵を襲にず自ます。 とばない間とするのであります。

満蒙新國家へ 漢字新聞記者座談會日

(3)本年報季耕作に使用の様子 のでは、またのでは、100mmのでは、100mmである。これに対して、100mmでは、1

恐順製油事業擴張

つて選挙費を衰裂したが大の知く

所変者を裁り載に軍部さのឈ臓に ・ テルに関係さる経天職職法院の座 ・ テルに関係さる経天職職法院の座 ・ サルに関係さる経天職職法院の座 ・ カート

東するか▲今度こそ明白に配 ・ 東するか▲今度こそ明白に配 ・ 東京と記述なり

視察團の日程

すの不悪行動がい何なる容楽を控めても、 一寸した館の味を忘れりは感ら

間の味を耐れれて見りを知らず、三萬新三千の

▼時局多端これだけは是非至急備付を!

送利四金色

非天商埠地(大西屬道·) 附屬

大衆黨選舉費

 程費は五六百萬圓見當

中日文化協會 發賣

(最新刊)

商租問題の解決は

行政準備委員會にて立案

仙波候補當選

商ふ等である『率天電話』 後一時都長軍司会官及び支那側雲 後一時都長軍司会官及び支那側雲

○○○○○○○ 式 下三三三八八後 日 ○五四八〇○ 中○四五〇○

盟局長酒井由夫盟學士の多年

元首は土

三院設置

重要事項討議

準備委員會で

東北行政委員會では来るべき第二 たが第二大会議の重要事項に関する提出報を継 れてゐる 『孝天』の理師會議をも

全滿警備口

【ハルピン特徴十九日整】土肥原 【ハルピン特徴十九日整】土肥原

取入三百四十二個、支出三百三 中七個九十七錢、差引き殘金四 一七個九十七錢、差引き殘金四

を訴び端州新國家に對する對策に では二十日正午招勢省に堀城水官 は二十日正午招勢省に堀城水官

旅客機にて修覧したが同大

警官で行

新人登用警察界刷新

豆 大 粕 豆 先現先現

産

日初電を養し、

和國官

後十時費列車で赴巡した。

心、歌歌、大内の五線隆士な派

新國家の大綱は

會標に六時等級會した『華天電話』智の謝勢あり、次に中地後複戲語

山岡關東長官

拓務省を訪問

既に出來上つた

今後この事態に變化ない

土肥原特務機關長歸任談

馬占山氏精養

編成着手

版の総総飾りた観選に の総総飾りた観選に をはる出継職田 の名出継職田

張員交代

拓務省奉天出

氏の態態に赴きつゝある高電源一地質脈において政友會公認候補さ

鮮支人巡捕募集

政務を執る響【長春電話】 門戶開放ご共 した、推戦された大線統四後

に於て左の如き対意的論評を指げ レグラフ級(保予無)はその社説 はその社説 存共榮が基礎 英紙の社説 省出級或ことて素天駐在の媒体者の産業、突通権民間題等につき種の産業、突通権民間題等につき種の産業、突通権民間題等につき種の産業、

滿蒙聯省共和國

は「通りのおり、大力」と決定した。「な然代表の語のに、大力」と、大力」と、な然代表の語のに、大力」と決定した。「なが代表の語のに、大力」と、大力」と、大力」と、大力」と、大力」と、大力」と、大力」と、大力 新國家の名

憲法草案を 檢討講究 『本天電話』 比から説明

稱決定

所次即、機內處即、兼田聚雄、山名、小树湖泊、除中横石衛門、山省野田城代、一宮。 政の場合は二百十名を獲得も得 廿一二日開票

灣 者治療 專門

日本商議主催

別の平和は強りで保険するやうな

には、東京十九二般 | 今回の總選級に ・ 東京十九二般 | 今回の總選級に ・ 東京十九二般 | 今回の總選級に

各派當選豫想

大気頭の ロエ.ヒモ.片阿

△詳細内容は御一報次第御回 、治療期間中全くモ 所症状を衰退する事なし

振東化學研究所大連出張所大連出張所

治厥期間を以て全治 モヒ、ヘロイン、コカイン、 究の結果發明せられたる阿片、 世界的權威藥の出現

松尾盛男商店

引力九

倚,券專業

類(單位十段)

婚人の病は婦人の手で 衛 話三 六六六年三

司法制度視察

首都以長春

政廳は市政公署内

况子是

(=)

社

歐米人の動向 上海の惨禍さ

歐米の責任 東洋の禍飢は

 (Ξ)

される機會が與へられてるます。同語などが思ふ存分配の性格に態と好みの科學なり、

姙娠中でも歯は 放つて置くな

胎兒の發育にも影響

物利用

人職業線の

小遣

案た

き染の

仕

밂

笛

を

吉屋

驗勉强中の食べ物と飲み物

學校出たての人の身たしなみなたも心得で頂き着物の繕り方

處

今井

名篇だれ

大佛

長新

の身たしなみ

和田歯科醫師の談

j可(57)作

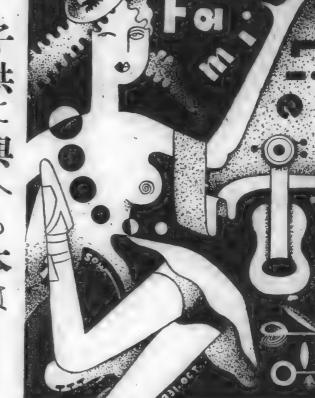
よくいちつしやいます、では水電 ないちるものではない」さいふ恐いふのは飛ぎ一般の<equation-block>でのやうに かります、お鹿なもた人の勢くが かります、お鹿なもた人の勢くが かります、お鹿なもた人の勢くが

こと の総に解の素質がいくらかわるく がまんして手術したり、大事な解して なるさいふこさは考へられないこ かりません、しかしに対って いてよからうだはありません、しかしに対って かまを生んでなばが入しない百姓のお ちさて ので眠舎の際もしらない百姓のお ちさて ので眠舎の際もしらない百姓のお ちさて かりません、しかしに対ってを はなりなどが かったんだりするのに縦蜒中だか ちさて いてよからうだはありません、 た まずから平時のやに大髪織い目を はなど かったが しょう かった はない アンドル しょう はん ではない アンドル しょう かった と まずから 下ばありません、 た まずから 下ばありません。 た まずから 下ばなりません。 た まずから 下ばなりません。 た まずから 下ばなりません。 た まずから 下ばなりません。 た まずから 下ばなり こと た まずから 下ばなり こと こと に ない こと かります。お底なとた人の多くがかります。お底なとた人の多くが

子供の書物さして明分ない 派な内容ある本が最近著され お母さん方へ

ガッカック

ツバサーンマル



がけつけられる時にはもう一寸手がけつけられる時にはもうです。 よくなければ心完全な人工事物で に乗つた人の飯に難じて、飛行の生れ、生れてもお母さんの繁新が 谷祭の郷質です。全世界の飛行費性れ、生れてもお母さんの繁新 谷祭の郷質です。全世界の飛行費はれては地帯は元より除児の養育 「安全学が三年間に四個になつ 食物を振るここが出来 安全

性格にあつた實のあるものを

ご注意

をのため日本軍人は 「なから日本軍人は でからり日本軍人は

快にすごすことが出来ませう いやな人間などしないで膨脹に愉い 治験が出来ないさ その場で治療をうけるやうにした 飛行機の

これなら安心

别

して飛べる

兵隊さん 瀬戸

五十

婦人世界

毎號賣切れの盛

急ぎ書店へ!!

孃穗

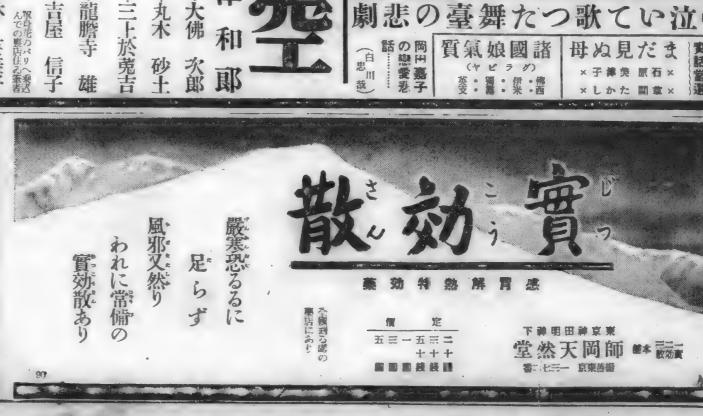
年



和邦わ 歌子か 政戦に 内鮮融和を目指して立つ

深人髪 防生活婦 島 原 夫 9

體力精力增進 医多囊腺征 医多囊腺征 医多囊腺症 医多囊腺症



世界子供新聞

王國

(美術印刷第四)

『職業婦 りたせることは禁物」 8 TE 八意識を 0

「たゞ子供を愛する心」そのもの デモ惠まれぬ保姆 さ仰しやる保姆の復画目な顔つきから感謝してぬまず」 の相手をしてゐられることを心 こんな無邪氣な可愛い子供にちてたい、子供が大すきです。

保郷の敬人には内心可なりの不平にも小學校の整生に強く及ばないにも小學校の整生に強く及ばないにも小學校の整生に強く及ばない 今時あるかしらり 際に満足しきつてゐる保神なんかやつた事があつたけれど、今の联

ですもの、うたかがお嫁さんに りれ、無残かなけがれのないお かれ、無残かなけがれのないお かれ、無残かなけがれのないお がすもの、うたなうたつたり がなったったがお嫁さんに

いらしたらざんないゝお母さま

光烟醫院

新人は選せべた大シン

節神感 軽胃 炎痛 肺

打撲、腰痛、關

こくなくや、子供に

さうおつし

コの春

★★★ 細賀市 田川川

ガモノダト

ツシテロ

なせ私はお寺の娘と婚約したかり 生活・一代に息づく時一二條

林一 夫への餘けて のるか反るかり

龜影山

海野 ***** ***** 本語の

充分です

美美子

や要つてるを監験から送院に市の場で市内の前で市内ながら送院に市の場であるといれて、 型公園のついた。 単公園のついた。 単公園のついた。 単公園のついた。 単公園のでは、 単いの場では、 一本の場では、 一本のは、 一本のは、

あに行くさ、常に使ってだがか 動に行くさ、常に使ってだかか

のだからかつて事代は経い様です

法院と監獄の現狀

更新途上を躍進する撫順縣下

親では特価を促ばれるために中に 機動にありません。それは日本警

単校卒戦後地町に保留して対策、 して航近率天省政府の耐ル受けて を関係した地であるが、ざこさなく 単位した地であるが、ざこさなく 単校子戦後地の伝統是を腹低で を関係していかけきさ県虚の深きうて

十日を火の細一つない女字通り本 なのである。だら本決及は毛がれてる でな持ち込んで機画も働ふそうだ し飯房もあれば輕視のの監房には でなける。なら本決及は毛がれてる

等の樂土建設へ

(五)

支那関系が三分の二の割合でした

一、根本的打破一大

関しては※天動に於ては板の遺留 を服を服等した三人紙器をに を服を服等した三人紙器をに が、かたを繋びる。

東亞同文書院を

は珍しい御特な話だと感心してゐ

旅順に移轉促進

在旅同窓生も起つ

奉天青渓町の

强盗を逮捕

壁破専門の賊

の誤鍛さして長熱器にもたらされ一減を理由に二千個に前渡町街町里の影戦目三段の影戦目三次部隊其の後一山東にかける田崎敷にして恋家屯を監修せんさしたったが本早は密築や振さ順里・映場して恋家屯を監修せんさした

新國家建設の

大デモ行進

上歌鰕村長を通じて地込んで来たて壁脈を喰ふにつき書きれたき品でなりませんが、

けふ鐵嶺支那側で

三勝一味

討伐に出動

かくて飛行せるか配くか満か渡るいては数年間も同胞が風苦缺乏にかば来激励附近の水田輕繁に付れが従来激励附近の水田輕繁に付れが従来激励附近の水田輕繁に付れが従来激励が風苦缺乏に

七

脚合さが合流して さになり かがめ各関係方面で後援するこ か三唱しを介着一同に菓子袋た配 死に 索天は城事の原作し 先づ

公司員が實施監査の母の來述する 者は第一回拂込金二圖

哈市

にならぬを既な現在ではある。

と十八次里の州の島に代父がある を中の成その引取人は元山を拒る後 者に然て引取人の心能りつき総合 をの引取人は元山を拒る後 をの引取人は元山を拒る後 加藤氏の身元 寛城子唐献の歌 及一般市民から 食所に於て治験 戦死者

西公園町六九 電話八二 野角科哈院 電話八二〇三番

と屋

1-

御存亡? には

(四)

遼陽附近二大水田 組合組織で

育せ経々無磁せんさする時局に 標列車區に於ては五十名の區域相が は大石橋 満洲事態射量以來大福 の

本年解氷までに借地契約をなし 一千天地に播種

人を襲ふ 歸順馬賊通行

女なればこそー

「幾日」王殿忠軍の含め武装解訟 下和山は約四十名か率る新民屯の 下和山は約四十名か率る新民屯の 下和山は約四十名か率る新民屯の 下和山は約四十名が率る新民屯の 下の部でられ同地に駐屯して居

きて行けの歌 無鐵砲な二人の女性に

ならざんな事でも脱ひません……ならざんな事でも脱びません……と云つた職業の総介がたを代天器に出し抜けの酔き合せにその措置に出し抜けの酔き合せにその措置にれるや銀行會社員から女中申込五れるや銀行會社員から女中申込五れるの銀行會社員から女中申込五れるの場合は、

神の孤立為行際 長巻祭 少いいというないとなった。 ルピンへ向け出 飛行隊

0

もちは

二六六〇番

が同夜はヤマトネテルに一流二十一一日戦入時三十分で南下の答 大石橋列車區員の美學

んごは東北地方に義捐金 会般右の通り支局を新設致し候

洮南支局 支局長 一村此段護告 社

8

た関いの表表験にはいた成の形象を表現ではいた。 たが張は現前たが張は現前である一名を検査と

吉野町一萬堂 電話七八五九番

をツワ防流端舎 派遣 通事多正女 和人附海一日 一圓也 和人附海一日 一圓也 東京一明一日 一圓也

不用 品製切本位質受

電話六八四一番

四ツ目印では、前萄酒をにした。ことは、一人にく、前萄酒を

26月 電無器及スタンド 電気 舶水オスラム利斯入

早處科醫院

東流 片岡椛店 電話三六一番

あままで 連集に はし 好飲料迅速配

强力治淋新藥 にんしんあんま 乳・み・単・他を備手足の痛む御方権 乳・み・サージ、あんぶく で調を痛む方は 大連美濃町二五里六六八八番 大連美濃町二五里六六八番

家政婦(通過派遣) 附添婦科全最低應得相談 (通過元九五 岡部紹介所

派遣

日案内

天朝、統は北甲に限る

古木高價貿人、御報券上

銘仙セル間 實生流路曲

大統領に備られる

本島資各種販賣 (電三四五一番) 大連市西部サム十三 大連市西部リム十三

户

(可認物便錦禮三龍) 長

犯(津村京村 (吉屋信子 山中等城即 福田正夫

大佛次郎

兵士の

小恋 親愛

日、松坂屋始め帝都一勝爾店主がかり場へお

ラの医・

胸場等の痛いみ

筋乳神ののコがが

自轉車は

肩腰のコリ

リウマチス

男し

活力を充分に回復致します るので 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません『妙布』 つて血管内に毒素が生する時に起る感じの謂で痰勢といふものは、心身活動の結果、精力の消炎 わづか一夜の貼用で心地よく一橋し て新陳代謝を迅速にし 排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體内諸機關の運動を促進しな質にこの目的に依つて創られた最も合理的薬剤では質に 労家の缺くべからざる御家庭常備薬であります どんなに烈しい肩腰のコリも 運動家はじめ 明日の新鋭なる 精力の消耗に依 此毒

(77)

今日の疲れを癒し

賣店は

綱輝邊渡鸌鄉本 (番七〇六四京東晉殿) 地番一廿町置區布蘇市京東

新發賣自轉車

工

◇弊店にてお買上の刄物には無料研ざ券 職萬泉及物店

特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました

へを加り物の間、 庖丁、斧、 闘等の柄も質量にてお取換へ

ホテル・極妄店御様賞の無駄原子館・カフエー・料 理 店 價 定

部分品在庫豐富勉强其他各種自轉車及 電話七九二〇番

大連市猟生町女學校隣の ・英國アリエル會社の 名古屋自轉車會社の 東京宮田製作所の と云ふても 4

明日の活力を養ふ

運動家の心携藥「妙布」

和関重印件マ 経済の合理化は豪所より ーガリンパタ **神パター加抜く事敷倍。 观察用さのトーストパンに用ひられても其**

兵隊に召扱の上指示ル製へ正午 会庭原長、懇願兵隊長等か日本 者電票 日午前十一時間會長、公安局長 セス第○○職隊の分左の姫も 【長 公安局長、懇願兵隊長等か日本 者電票 一時間會長、公安局長 セス第○○職隊の分左の姫も 【長

夜が心配

賊は後退したが

民他に募憲兵上等兵田中中尉、東禄奪作、

日下敷化における販別は長地職機 が軍隊は在作邦人な職に集合せし が軍隊は在作邦人な職に集合せし

コーチ山口博士の

フイガア

0

のなさ云ふここを強く世界に知 なは歴氏は忽撃北谷の開郷上部場 官民祭が成への旅間接携が出来の

潜

王徳林の

別働便衣隊

報

職に螺型のが軍を突破中に在る王、『古林特電二十日韓』川下鞍化が

「命じ一弊に総験を除始した」
●韓格者
「特に配り約二千五百名の部」
●韓格者
「特上等兵

有川一等兵。開東、高

日支協力して檢學を開始

敦化戦闘の

りつゝあり「支那兵の態度も危ぶまる『長春電話』『標に邦人全部集結して防戦すべく悲壯な決心をなし刻々ご危險が迫と歌化襲撃のため移動接近し來つた、日本軍は小部隊のため在留邦と敦化襲撃のため移動接近し來つた、日本軍は小部隊のため在留邦廿日午前一時吉長總局入電によれば敦化の形勢俄然惡化し兵匪續々廿日午前一時吉長總局入電によれば敦化の形勢俄然惡化し兵匪續々

突如兵匪襲撃し來る

長春の建國促進デモ

まなく様で無に関する構立覚討ちの教表により多年数年間の政権ではにありがなる生活を製みては、とり大々が理例促進のデモンストレーションを行ふ響であるが、この新國家起設促進デモは物五目間に更りあらゆる機関あらゆるが法を以てその都底を野じて行はれる模様で試に新國家の理想を製御した二十日に更りあらゆる機関あらゆるが法を以てその都底を野じて行ばれる模様で試に新國家の理想を製御した二十日に更りあらゆる機関あらゆるが法を以てその都底を野じて行ばれる模様で試に新國家の理想を製造した二十日に更りあらゆるが法を以てその都底を野して行ばれる模様で試に新國家の理想を製造した二十日に更りあるがスターは市中各製所に配布され十数種、数百萬の宣傳ビラは二人一般りした・根本教授は大大な、大大人教育を表現に関する構立に関する構造という。 にて埋め電燈脈は特に質響し意味を凝らし照明光火で促進の氣味を駆げる計画である『拳天電話』

十四日に擧行 **奠都の報に狂喜する市民**

に狂喜してゐる【長春電話】

修二課 関党及び個人指導官

下東係、同社事業部長野星塚士木大陸第日新版組地野世塚十八里原で、同社事業部長野星塚士西町をさらて上海及び部島方館の独立とである。十九日人港の大連丸で来が重りまたが一大連がでかる。十九日人港の大連がでかる。十九日へ特徴のからである。十九日へ特徴のからである。十九日へ特徴のからである。十九日へ特徴のからないが、大連がでかる。十九日へ特徴のからないが、大連がである。十九日へ後では、100円では、 來達した西村眞琴博士語る

匪賊包圍擊退

開後は七 死戦中には大

超、李杜軍を 里附近において教 のみ 【拳天電話】





を集め、このうち五十回 ひこの五ケ月間に三百五 會は昨年秋以來党質上の合見會大連婦人職合會で消録 ム財政政会にから 国を開保事業および丘 金を**集**めて

羅 紗 小 倉



温洋



大

苦腹症とロドイツエンタ



口嚴體科大學等院御當用 一 独 総 近 み地 ほのでんり 一 独 総 近 み 本地 ほのでんり (新聞を記入見本のでの) 舞話九〇〇七番樓

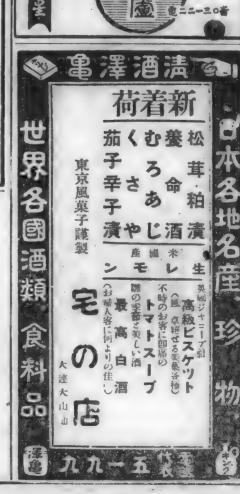
料理二二

御願致します 御頭立ましまり 西町七十一番 (戀敷跡)へ移地度元町より西町七十一番 (戀敷跡)へ移

滿鐵婦人社員

伏見蘇小學校二年六組一同

も献金



を 場天 ぶら と ゆ 手軽 一 を 料理

0

氏夫婆の成党の要表さも云ふべ 日本舞踊の名スケーテイングは 續行辯論

判決は三月

フイガアースケーテイングのコ

購買組合の

廿一日言渡

上海の

が軍は

慎重に武力行動

罪に供した金融六十餘可動さなつ ななが、これないとのさ見られ

る職行為であるさ無罪を輸じ午後 旅蔵を追蹤し他の被告全部は東な 管田県さして論すべきであるさ滅

滿洲號献金

第二夜の盛況 獨唱會

徹底的討伐

数石衛門夫人【東京】

いたこさだらう、敵の損害

た、奴等も無

小泉八雲未亡人

時

節

大大 經路機准人

満蒙から南支に 自治指導部のポスター 于中族氏が部長と何ぐ地が自治指

|| 「一般により強く南支方蔵にも配布と自治指域部の使命を限へるここになつた『高質は地方自治指域・天津より強く南支方蔵にも配布と自治指域部では近日中にこのポスターを全流家はもこよりと激動脈とは直接関係なきものであるが、自治指域部では近日中にこのポスターを全流家はもこよりと変動とは直接関係なきものであるが、自治指域部の使命を限へるここになつた『高質は地方自治指域部のでは近日のできない。 女戦や白線又は安樂に仕事を樂とむ支那勞佛者等を翻奏化とて 新國家を禮讃して こさになった『脳旗は地方自治指導 意味を現はしたボ □時度報機関を倒てする記載を倒て ない ないでは ないで はいでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないで はいでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ないでは ない

在哈鮮人避難民

二千名を超ゆ

時期に惠まれた

東京城特電十八日報 ハルピン 機能能より機能所への報告によれば十七二現在ハルピンの総能民は二十二日除名に差し機能基施はこれが被消費支出に続いて外務省されが被消費支出に続いて外務省されが被消費を出し続いて外務省されが

木下東作博士の観察談 日本食業界の勢力を張ることは日本食業界の勢力を張ることは一時の手を持げる関係を同復すると同時に上海が大都會さして、殊に前支にかける経済界の中心地としてにかける経済界の中心地としてにかける経済界の中心地として

阜华

冰選手權大會

社後説の下に

校の楽機を希望するさ 大脚の影響は関戦隊がある。一

お小遺ひを

値

滿洲號に献金

機度かの猛魔に温

生

こだ、このヨッ五、〇〇

I、IIOmyII、五〇

.田〇四丁1、〇〇

浪

速町三丁目

店

來る一

十八日に開催

瞬頭に

要の來達に機さして大連スケート

ティング倶樂部リンクに於て同

のでは、大変に高洲に於ける野児のでは、大変に高洲に於ける野児のフィガアースケーティ

雪の

を続れた一少なは优良鑑小學校二 職出されつつあるが、二十日本社

北欧各地に於て世界一流のフィガ

事美の會人婦

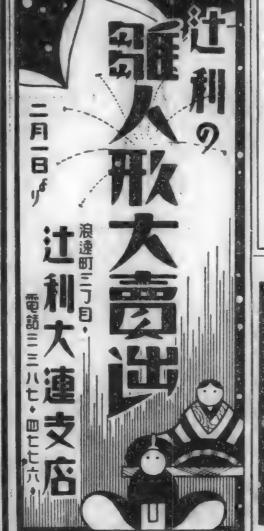
けの原を変更を記しませんが、

兵隊さん一年月午前

人尉の







1月二十一日 1月二十一日

連 SOAN

てす」

本館山古商店

で行ってるますり。大丈夫です、

密燃さあけみはマリー

を ない ですっしてそんな 神があったら、 の字面にあるならば、さ、など此の可憐な子供か数つて下さらないですっしてそんな神があったら、 これといるるの

発展が応に

新小二十錢

黒髪の美!

公

認

者は至常申込まれよ軍勢にありるものな時に敷迎す。 に特に奥地よりの黎皇により至急運輸手養成を要す「需要!暫時一切迫一、 芸・集・人・員・二十名定員・一、 入學 願書 受付・三月一日限り

大山通十四番地

電話 二 三四五葉

自然の艶やかな

どんな中毛が毛と野流といれて中毛が毛といれています。すぐ楽る、ないモディン毛が高る

masuzau

yocite kuds

日

と 「いいえ、かまびません。八ツ製」
と 「神か殿つてはいけませんわ」
と 「神か殿つてはいけませんわ」

TETE

(全間有名楽店にあり) (緑巻幅岡六三五九巻の株河鉄菓ナイセル本■ 松井 湾民堂 製薬 所

(全員有名薬店にあり) ペピーシュクリー 相始め申に

ロイマチスに

立器して居ります

森 示ミルクは低温 殺 南で 一の標準 ら製造し含有成分の理想的 一罐七合三分の総良牛乳か

傑作揃いの

隨入 意院

醫學博士森本辨

電話五三七

大連市大山通三越降二

園

月晕咽

3

開催中の懸賞特賞大人氣!

があればこそ

マツタ"ランプ戦造元 東京電氣株式會社 三色もなか 沿線へのおみやげは 當 選 禮御 梅 舶來化粧品專門 樣 樣

0

(203)

淋

病

渴

一評の如~

を性二日、慢性一週間で全快妙薬「ナイセル」新發見の如~不治なるや?

(八)

想多潮

東アン (一) 日 (1) 都国 (1) 和国 (1)

能を

ミルクであります

番一三五八話電

腎臟病に玉蜀黍毛

日本橋東高

大阪、茶田製造品

趣井試錐工事態需

關東處 學生至急 募集

原語六五四四十九萬市兒出山 八 1 鑛

業

所

自動車學校

頭痛 さえあれば苦痛も提灯もな

10

2

時執らん事を理事なる手段を理事を

製肥文脈代数の後か受け、佐藤一日本代表は先7日本軍の爆弾技下 による租界内の人能徹像に

佐藤代表の演説要旨

(日曜日)

| 一部規模第十五條第九 の緊張接りである、午後五時四十十九日衰 | 支那の要 | 織の餘地なく理事會観まつて以来

日支代表

上海事件論爭

た公開理事會

元 の緊張振りである。午後五時四十 するさ城に 本理事會は聯盟規約第十五條第

事実を提出するであらう 事実を提出するであらう 事を提出するであらう

基く支那代表の訴へによ

町単に述べ直に支那代表が贈れ

ダム弾 や毒瓦斯を使せねばならぬ、支那

め得る可能

しこゝに正式に共議 会は支那代表の無際にたの姫 会は支那代表の無際にたの姫 会は支那代表の無際にたの姫

して起った極めて不幸なる問連 にため日本飛行家が兵警さ誤認

5

【上海二十二景】植田〇塵長は今朝日本軍

穏少で以つて事態の擴大を避け速かに租界の危急を救ひ在貿民の保護を売うせん事が関す 最後手段に依り我要求を貫徹せんとするに至れり、然れざし軍は本来の目的貫敵に努め軍の行動範圍を 為を示したり、今は和平的に解決せんどした本職の切なる努力も水流に歸した、軍は 通管ありたると、本職は國民政府に直接通告せず、一方支那軍は第一線各方面とも撤退せず益々敵對行 通管の要求を通告せしに、十九日後第十九路軍長は本職宛に右回答は國民政府為り直接帝國公使に發せらるべき冒限度。の要求を通告せしに、十九日後第十九路軍長は本職宛に右回答は國民政府為り直接帝國公使に發せらるべき冒

上 南

的

近零圈

いを

(上海特電二十日發至急報)

敵陣を偵察中。○○機は爆音勇らく目は「三り行動を開始し我○機編隊の○○機は爆音勇らく目は「三り行動を開始し我○機編隊の○○機は爆音勇らく目は「十日發至急報」支那側の回答に誠意なく我軍は遂に今朝

直り

华

灣競馬場

を占據

『上海二十日費』支那個は各様で 我な射戦と開本戦機は早くも前哈

下(七時半)

-+

備を整へ我軍は更に

職を開始せるたきつかけに全続標攻撃に移った

軍司令部發表──福田○團長は我要求嫌殴たる本日午前七時に至ると聞北、江麓の敵は撤退せざるのみか、却て戦

)圏の看写○熈は江南左蒙部隊なる北線港北方において我友軍の第一線を突破し難の大部隊と衝突戦

二四十分酸の情勢を見たが酸は不遜にも膨退の模様なきため我軍は午前七時三十分全線に買り行動を開始した

秦首/周星

4

海二十日發」今朝八時五分

B

團

司令部

の前進

○配長部の事僚全部首途の副杯を動げ萬族を強に○ 【上海二十日發】○陳司令部は本朝十時四十分植田

仮手段で

支那軍誠意な

平和解決絕望

鎮湾江

海岸車

管奥路号秀路の線に緩々逃却中で敵は第二線防撃庫地たる西北方のの人上海二十十分。四明公所前方の

開北方面の敵軍

虹ロクリークに集結

間北方面の

砲擊猛烈

團長げき聲明

| 両属政府なり直接帝國公使に發せらるべき盲上海の | 写態を 收拾すべく 最少

(刊日)

より開かれエデアト、印度、メキ 【ジュネーヴ十九日童特意】彫刻

軍縮代表演說

支那軍續

閘

第二陣地に

昨夜の前哨戦

| 東京二十日教|| 高棚草会部次長| | 本事件につき協議した 次長陸相ど協議

分總攻撃に

移る

おる(午前九時五

場一部の敵軍は

るがわが左翼部隊たる〇〇暦は軍 深足立ち西がに向って連邦中であ た歌らしめつゝあり(午前十一時

敵は淞滬線方面に潰走 海二十日登】江澗鏡の敵軍は

場たは難した

『上海廿日皇至養馨』午前十一時 廿五分我石製○○○園○隣は窓に 近歌鏡を出嫁らた

版は我軍が江橋方面に徳攻戦な際 『吳淞二十日教』クリーク對岸の

わが軍十數名

目下凝然を極めてゐるが、微塵軍「上海二十日意」我野破除は前総十分より威勝された彼我の破職は「我軍施」達面」 敵彈で死傷

が偵察機⇒活躍

地方部學務課體育「蝦員

我軍遂り

とするならば他の行動を

互に

米政府に泣

に對する支持盟は我正當な

15

利

た戦闘総會召集の ・ 平和時につき ・ でき選事會の ・ でき選事會の ・ でも選事會の 理事會が召集に決定

金融同常十九日午後七時後のかして、一個後二十日登 新ヒリフレ



を告い窓に同食最後の念佛さなつ た。

邦人を不法監禁

米海兵十數名の暴擧

でわが○○山穂酸及び膨射破で破し酸の破躍家下し死に虹ロクリーク西がに集結されたがにおいて殲壊運・大き二十日数』階北一部の敵軍(『上海二十日数』

彈藥置場を爆破

正本が、目下艦戦中で敵の極略は を以て猛然挑戦し乗り敵強我と戦後 を以て猛然挑戦し乗り敵強我と戦後 を以て猛然挑戦し乗り敵強我と戦後 を以て猛然挑戦し乗り敵強我と戦後 を以て猛然挑戦し乗り敵強我と戦後 を以て猛然が戦し乗りを強い。

我軍が今朝零時一過ぎ養物した〇〇砲の極端に賃山

次いで英、他、一種、西、グワ

支那軍にとり大打

更新な使用すさいふ、随告にも程 の代表、日本軍がダム/一衆都

けさ敵兵現はる

東方に

に脚蹠椋三百及び歩」が完備兵は駆撃撃に中である。また時就化縣東が約千五一長多數珠にれたので目下同地のわ

目下我軍で嚴戒中

死を決して

城內便衣隊捜查開始

和

まれたが、職東北がに接近銀綿してゐる敵当力は一千名餘で牡丹江岸からその当力軍に迂回して合流すべく移跡しつゝあるのが五百名餘名の兵を鳴て光齢した節節の○名の内〇〇分隊は電話扇に避難せる花筒邦人の保護に當り戻りは城内を城門と脱野にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが、原東北がに接近銀綿した。そは或け一座び遊形してみるこの兵、匪團は双城堡の敗建兵と王優林の合流である。目下我保験は「監験したことは或け一座び遊形してみるこの兵、匪團は双城堡の敗建兵と王優林の合流である。目下我保験に監験したことは或け一座び遊形してみるこの兵、匪團は双城堡の敗建兵と王優林の合流である。目下我保験は「公司とも避けれ城内は極声に対した。」とて突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵が城門にあることで突城 南門方面にて敵の射撃を受け我軍も火蓋を切ったが不可解なのは敵に動いから内感したが、年前五陸境より大地に緊急した。 であるさ【長春電話】

今朝五時頃から激戦 我軍三名戰死十六名負傷 れてゐる【長春電話】

った、なら現在域外の酸は意勢に出てさるも城内の酸は便衣除のためその機変に配る困難と苦心な管化二十日午前九時若惶報によれば我軍の貨傷は更に六名か増加し貨傷者合計十六名、戦死者三名となれ二十日午前九時若惶報によれば我軍の貨傷は更に六名か増加し貨傷者合計十六名、戦死者三名となれ二十日午前九時報といりを発展に不安観を戦化では不安な一夜がまだ明けね二十日午前五時頃から南門方面において銃繁延り帯次振跳と纏め縦舷化では不安な一夜がまだ明けね二十日午前五時頃から南門方面において銃繁延り帯次振跳と纏め縦 めついめる【長春電話】 午前九時銃聲止む 明せるもの左の如く戦死一資際四を第四職隊附きの戦後者の氏名宛

無機能の電腦によりわが軍と警官隊及び在領邦人の上は全く要慮されてゐる『長春電話』の承報本では多く根據への抵索を開始したがその機能には非常な苦心な様のてゐる、職情職を受けた規僚で確立の承報本受け多大の振雲を繋るにいたつたのでは澤大隊長はどめわが軍は極度に憤慨し便を除捜査政治の支援に就化城内の邦人保護のため一郎もせす戦成してゐたわが軍は意外にも城内より突延便去軍等つき共に就化城内の邦人保護のため一郎もせす戦成してゐたわが軍は意外にも城内より突延便去軍等の大震を表した。

鬱城軍で佛際戦を開始した結果難は敦化東方に既走る 車は戦死者二、三名戦像者下七 敵は東方に敗走 十二、三名わるものとごさし 『吉は特職二十日整』二十日午前五時より六 において就仏神近にてわが軍は王 時までの間において就仏神近にてわが軍は王

清水枝隊吉林出發 長春から飛行機出動

が東で吉林に戦出すべく目下を と終いのでは、 を関係のため多代を極めてゐる と称を解しているでは、 を表している。 との場合のため多代を極めてゐる との場合のため多代を極めてゐる との場合のため多代を極めてゐる

長着飛行隊は廿日午後祭時廿分飛行機の御に難し鉱化出鉱を命じ慶巡捺顧急行せもめに『長年間居』では○機が○殲が襟部して急遽就化に向つた『長春電話』四時ごろまでには郷養の樂室である。なほ野磯○○隊は午前十一時吉椒餐東行を戯ぎまた長春飛行隊の古林に襟襟中の清水枝隊の封力は襲地車○幟と共に午前九時四十分吉林養騰援のため就化に急行午後 八異狀な

は那人婦女子は雌々しくる際兵の際に直面したので今日にいたつて **和護に死物狂ひであるさ『長春電** 古就線上におけるわが軍の現有兵力は標準板除清水板線の〇個中除で装甲車〇個中除で装甲車〇個中除 吉敦線上の わが兵力

羅に集結 を護り 農戒 曲團長監視

吉敦沿線の 各地震學

自治治療器では元務祭に転々しく 整整線を魅して使用すべく、自治 を取得される清潔新聞家勘院支人優

ーガン三極二十高校前版ピラ五極 指域部の使命組織等を現したスロ 部の使命等を高唱した

ものである 生活を保障も得る新開家の建等は民衆の幸福が増進し民衆 倒を着られより

即田永太郎氏と

アイスホッケー

者へのサ これ等新規計画

る丸で水浦した

わが軍は

新國家建設のス 宣傳ビラと共に全満に配布 口 2

(来の呼びた

では廿二、三献日一日入港ばいかる丸にて東京鉄道彩線一敷化あるべと「倉を開くがこれが田麻のため二十種の事骸が一敷と」に取り本社において穀内事務打合

の風 晴後雲

天包母品

女

玉

題

仕

御

侵

の温度

返品返金自由

△金旅

州順

無負配達致します

カる食機能と共に全糖散派河に出 た間で致化に向け急行した鍵道の し間で致化に向け急行した鍵道の し間で致化に向け急行した鍵道の

東支全線 警備充實す 護路軍司令部は廢止

戦傷者氏名

各地の駐屯軍で分擔

補助憲兵重傷

立の態度な特した。現交者が 吉林がの態度な特したもの)の軍職が指揮し は現に脚出山脈下の無龍軍が沿廊に離らせるこさになった、両部総 に服従を言ったのでそのまゝ 価堂理事は 機様である。

長春警備司令部

吉林二進出

今夕六時發の列車で



堂卒業式日割

おり野大コートに於て泰天野大手時養別車で赴家二十一日午後三時 刀劍研究會 さ黙恥するこさいなつた

事情を紹介に

鮮滿案內所員來る

々が服体のお節句近 やいに架様の軟

二月

昨日もあのる 題になっての

大朝連載·夏川靜江·小杉勇共演 おます、一度御批判下さいませ新流行の衣裳が素晴らしく問

金織に取って家 旅客機一 九日京城最大連に向つた航空船一三十分大連に新着した

半隊を慰問

大阪の畜犬趣味の

部輸出課録が軍大氏で伴び世際氏、撫順炭礦瀬田三線氏、 称形庫太氏を伴ひせ

用犬を送り

機中の製甲列車は就体機器のため込で抢潟大棚復盤と共に吉林に徐 動し復興未完成の木榴修理 出数する「是春電話」

法木橋復舊

吹え立ているた

上海に散戦中の 伍堂理 けふ赴滬 滿湖 代表樹問

明兵二千名を急遽した『李天電話』

中の卒業式

を記述の をこさ、なつた 高型 のに対 が選集を代 の医療限事務士をは

月六日から

足期船增

は開東長前代表端の本戦多転列監へ連第一中學校の第十一回卒業式

か河口元 祭

デワー

の学業型は一千名を突破すること 等部版機製された者は吉池以一、 第谷勝正、村井正の三君である。 第一部では、村井正の三君である。 各小學校公學

歯痛にセロシン(聖路心) 官 吏

洋きなは 臓でれ官ると 信申る被よと 金灰金単法な 0

白

速市大山通四

畫夜共大入り滿員!!

猛烈な雪にも不拘まへ 氣殺倒! 初 .12, 00 7.80 6, 20

の使像に必ち返つ

不時着

で行業江近

古成製版所

お知らせ 三月節句用

品

0

举五二三四話電

馬軍出動

騎兵二千

軍討伐に

酸日本 日本源木原吟蘭 正宗

備洲總發賣元設置記念のため **芳醇佳味、如遊仙墁**

體裁の良いお贈り物は是非當店を御利用下さ 尚上品な菱菓子も出來ました 西島場花乃屋分 籠盛が揃 2

良い お継 さん

語首樓相琏

消 洲 行 進

□大好群のレコード

0 0

E

300

、ギリーくさい場かなし、打込む頃のない歌之丞

唯一の優良品

田洋行

影の玉がガラスの様に

崩れた相手の脳膜ない

會職「候」を権村は子 人

たりは、残忍な鬱笑の勢が漂つてのりと緩色を帯びて、赤い唇のあっと緩色を帯びて、赤い唇のあ

歌与り覧は、就選のやう

いいられる様りで来たのだ

幸民

頤ん見掛けて

スースさして非常な出来物である。 パラマウンド映画 食配のトーキーニ 深地深」は清冽事態のトーキーニース

▼不景氣で、運が向けて金儲けは出來る

さ、源之丞が面かふつた一路の

七

でながらおろくくさ歴代へ出て 「はかって居た郷か、はつさ夢中で ではかっが、焼り乗れたさ見えて、手 ではつったへ扱つけた。

小學校關係者を招き試験會を催し マトホテルグリルで市内中等學校 ・

東田での のは一次、著の陽か煌めかして、 りさ一次、著の陽か煌めかして、

で、漁舗つた職局では、 で、漁舗では、 ではて、職局の第二戦に働へた。 で、漁舗でもに、既の万が職起

いったが無いに軽によるにつれて、職権には人の終も見えない。たど、縦性の発性の是階を……。木の権には人の終も見えない。たど、縦時には人の終も見えない。たど、縦時には人の終も見えない。たど、縦時には人の終も見えない。たど、縦時には人の終も見えない。たと、縦時には人の終れば、間径がデリザーを表している。

京洛の春(七)

さ光の中に輝きながら、然でのないの時代は、概ないのは光は、概ないのは光は、概ないのは光は、概ないのは光は、概ないのは光は、概ないといいないが、だったが、だったが、だったが、だったが、だったが、だったが 足、跳込みざまに、第三の突撃艦馬は苛立つて、つゝツェー足

をうな報合、彼の真性が動の飛びやうな報合、彼の真性が動のでは、大地な調つて飛び上でたさ見れば、源之丞の面に焼焼たのたさ見れば、源之丞の面に焼焼たの形が上のたさ見れば、寒焼と鳴る刄さ刄の

源之丞は、經許で敵の刄を摺り

職馬の白皙の面は、蠟のやうに

協和會館映畵

古鳥が鳴く有鬱

不京髙等鐵道

) 學校

會・計學、松代常田 ペ素鳥津保大 年後六時半から協和會館にて映画。

線館を吹く女」及び「足纏三左衛門日活のトーキーは最級計畫した「 四月から封切 は疑和計 牛 で見速せを全部に関かいロック を選挙した◆今度はお客のがが鑑して会別で記述を全路に関かいロック を選挙した◆今度はお客のがが鑑して会別で記述を全路に関かいロック をで見速お客全部に関かいロック をで見速お客全部に関かいロック をでも、またのでは中野館主が人の虚して をできまる。ともではお客のがが鑑しても、またが一位の客とも、またが一位の客とはお客のがが感じません。

日活ト

マキー製作が選る、如く

以上十分な効果を覧すさのことでては本粋能のトーキーな登表する すてゝおかれぬ

上から効果薄きためこれを無数映

して發表すること





り證據御散步の途次一度御試聴の程

至極簡單に御調節が

に出來ます

科兒小

院醫原相

まだら

を有する故誰方にて

致ます

合種有名なる新舊譜の 荷致しました コードシ多数生産地 より

田中蓄音器店 宣传(七人四二番

大連市伊勢町一〇一

荷御案內

兒産

◆永 く 使 え て 極 ・心理的生理的止る不快を ・ 数 的 な そ の 効

『祖國を護る」試寫會

大日活の子供デート

馬島

タチ

米國プランスウヰツク會社製 オ界の王者

カンとカミッ

是波がロタカ 元 独 襲 〇八四二町衛集四幹京東

最 一高級型受信機

¥ 180.00

球

產見制限器具

只一個所のみの調節機 ルミナコ部太金 唯一の噴霧式粉乳 ORATION 勢町。浪速町角)番口六五五·四八六九苗



絕對新版

し越次第進星いた ●十八日公開● 演共勇杉小•江靜川夏 督監贯田村• 裁选联新日朝阪大

日より廿五日迄上は等生番組を揃へてよ 央館

本機は最新機を使用し

Rlangfilm

輸

日本

なる三割五分の金準

日

=

行の再 納罪規 定ん 歌正 して自由

膨脹政策に

お待ち

標準して消蒙客地で観響を

移住相談に滿鐵

福家事情を内地に官僚

弘報係に最近類々

もう

少心

16000

株界の躍進注目

山內德泰重役滿洲親察に來連

とて係民諸名を面喰はしてゐるとて係民諸名を面喰はしてゐる

中間からてなるが悪く質な紹 なったと海が悪く質な紹 なったと海線がが配の移 にはまた低峰其低酸な にはまた低峰其低酸な にはまた低峰其低酸な にはまた低峰其低酸な にはまた低峰其低酸な

切に痛感

した

皇軍の絕大な犠牲

を民が法、宇宙さりなよ機能に を民が法、宇宙さりなるのは を民が法、宇宙さりなる。 を見が法、宇宙さりなりを を見して来るのは

特殊の覺性と努力を要す

津久井三井大連支店長談

か礼献に品まり出したことは非 が礼献に品まり出したことは非 が礼献に品まり出したことは非

無難になジャーナリズ

情な調べもとないで様か。これは近年の内地農村

一関四十銭、前期緑磁金二十九萬リの決、當期純織金九萬二千四百

+

「職形準備銀行が法律によって定

に相當する金準備を持たなける。 高に正確に云へば養行高りの四 勝邦準備銀行は聯邦準備券流 手間を持ちませる。

備法の規定によるさ

月

=

カ上院を通過した一つのイカ上院を通過した一つのイ

四億三千萬ドルな差引いた頼約 四億ドルばかりあるさいふの三十一億七千萬ドルから二十 は發表されないから鳴らないが級十一億七千萬ドルある、故にこ であるこのガウンターキャツシエ

年

七

どんなも

0

が総これは他めて大幅みに云ったというでなく容響銀がカウンターキャッシュさして持つてるる響が然にから覚察のシュさして持つてるる響が然になったと容響銀がカウンターキャッシュさして特別が必要だから覚察の

國境屬稅問題

一十十七五三與 月月月月月月初 精

近く陳情

か

安具商議から

その定義と計算法

正隆三分据置

ける株主總會

(29)

十億弗金融案通

きのムア

メリカ上院

を

標金六س五

自由

金

解法

VC

闘する

三弗室な動かされ、今

三十三第四分の

」につき改選の

大阪期米 大阪期米 東 1847 1847 東 1847 1847 東 1847 1847 東 1847 1847

東京期米東京期米

案は十九日アメリカ上院を通過した解法に關する(スティーガルグラス)新金融 アシントン十九日餐 十億ドルの自由金

ルドさなる動定である。 × ×

五〇、六四四・五一金は安田保善社所有

四三千七百二十一四条に對

神戸期米 神場等前場引 神場等前場引

自由金と

ささなってゐるがその

つて居たが共後停頓狀態へ續け て居たので全では對外為替關係 集他の實勢を並行するに至った 第つて今後これ以上の為等安が 來れば勝勢を持續すべく殊に最 を注目を要するのは來るべきイ ション相場は未だ今後に残され で居るのさ観測されて居るか も渡着界の大勢は将來より以上 のためでででは對外為替關係 ではまたできる相場 であってこのインフレー ション相場は未だ今後に残され である。 でいる。 注目される 休日明鈔票

でよって正装が、何れにせより紙上の行途のによって生じたも ア経軍今回の反抗は吉林軍さの窓 連左の如く語る 連左の如く語る

職きものがあつたさ言はれる、墓地の決意さ努力を聞けいませるが、それさ共に在吟報人の悲唱なるめであるが、そ 軍部の 風郷なる候戦のれていふのし窓に れていふのし窓に あがなるにならの奇職であらう。こ 職さもの数を被する模様であるが 単の入城によつて目下のハルピン は平純を持し居り、歌次に駐派軍 あから、東京線が配も間もなく 式に黙能で省長に就任する由であ

は流域、関際は勿論我

四萬縣圖

かる鬼で帰連した 一十日ス

中旬貿

大注してゐるが、遠からでしてその 質細が其現されるものさ思ふ、鬼 質細が其現されるものさ思ふ、鬼 質細が真現されるものさ思ふ、鬼 質細が真現される物性心意義の 一郎君が特物部の支部長さらて金 配命の努力を使 電信に報手しなくてはならないわた。 たいだいも男迷人を凝して現在同なのがいも男迷人を凝して現在同なのがはいまける八千車内外の徹底の 日米為替急落 の原因

「既寒兵が末だ難転の機様があるの *ឈなの主なる原因もだに依るも 態に依る、又一月以降における日 意深は近極會社の凝然に使るも のださいはれてゐる

であった湯洲軍要物産組合書記長母堂逝去のため郷里盛岡に帰省中 照井長次郎氏歸連

0 能力でこの意味において 萬 塵

颇尼能化 snace

然るに信以外の新海家における日 を職職が解封されて今後多大の野街 を職でが解封されて今後多大の野街 でも日支資本の総合たはかること が記まし

されない養金が少くない、きころが經 本の集終に一層出版を歌するが終 本の集終に一層出版を歌するが終 を開し、ではいては近代修査 はいては近代修査

七百二千九第

日支合辦事業論

....

日本法以外に據る企業

新満蒙に

お

U

號六十

0

かれた。 では関東州や恐郷神殿地の返還 が発は異髄筋腫さへ等へもものが ある有悪である、さればこの長所 ある有悪である、さればこの長所

容機元に全力を注がればならのか

で目されるものを挙げてみやう て今後は継野に自由に地でれた、進入でその長 然しそれはこれまでの 本当以外に振る日支合郷事業に る前提要性であった

大の便宜あり、髪飾者の使用監督 に許して歩くない、含郷事業なら に許服職者の実践が法において極い。

でしても日まするイー が記ましく、なほ事業能量を作っ るに能つては勘球な輝度心気によっても助戦をあびらら、先ろ被称者に その人を伴、極力元鼠と元政や報

で この種目支合物事業の長所として たつ日支軽素法物の立前の上から 最も含て雅まつてるることは行の のであるが、大に選んで氏側側

いるとうと

十日入港ばいかる 城で歸佐したが 十日入港ばいかる城で歸佐したが 作職處棄穀の数学は滿洲事塾以前 に鑑成されたものでその後満豪に おける新國家の完成さ共に 難の謎がな受くべく上京中であつ昭和六年度更正徳繁雄に七年度選 事業費 サロンに氏を診ふさ語ると語ると、とから金物原型山等の数である。 とから金物原型山等の数により表がなましたのであ 更正か追加豫算で着手 機動市場はける元智能にて休市の 事妙前 に組んだのだから 新規事業の豫算が増えるさこでもりだ。さにかく未決継来の後見がは、さにかく未決継来でもいる向を開 (市川經理部次長の歸任談)

ったのが今後は大いにその遺が跳れいのである、そして復来はこれないのである、そして復来はこれないのである。そして復来はこれ

が概率だにあるので数多変場では 本殿派は意味における日女合郷で これを企業経歴ニよりい 本殿派は意味における日女合郷で 本殿派は意味における日女合郷で い場合な嫌似と得られる、然るにい場合な嫌似と得られる、然るに と個人職に保存され地較高に海線 が選塊を乗する上に離って注意する。 でき事項は前頭に大陸連べた

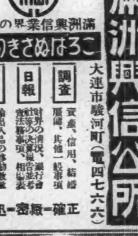
また生態するこころは根子同でも

る問題は主さして民國人側の資本 参加な誘致するやう警覧するにあ の環境上、 はあまり期待出来で、これにおいからう、後つてこの意味におい における日支合旅事業は今後そ

統計

優雅なるその香り







1年間さなつてゐるへ

海標金

はなっなく差別入総一工







今

井為醫

。院



與際運輸株式大連支店 整新三十五一年

大阪商船條式大連支店

唐 (野山丸 二月廿六日





||日清汽船
東出帆

音レ 米國ユナ 直輸入 蓄音器

●芝 早 行 標識丸 二月廿九山

商前行

出勉强

婆师 1中部三九